



BenQ Board 取扱説明書

CP5505/CP7505/CM5505/CM7505

V1.1

目次

概要	4
CP05/CM05 について	4
仕様	4
寸法	8
同梱品	12
コンポーネント	13
設置要件	16
電子黒板の設置	17
インストールと構成	18
電子黒板を DMS に追加する	18
開封	18
取り付け	20
ペンホルダーの取り付け	26
電子黒板の電源を入れる	28
外付け PC	29
BenQ Launcher の設定	31
電子黒板を AMS に紐づける	36
基本的な操作	38
電源ボタン	38
ユーザーアクセス	38
ユーザーインターフェイス	40
接続	51
NFC センサー	54
設定画面	55
接続設定	55
画面設定	57
音声設定	60
詳細設定	62
Android 設定	70
BenQ App Store	71
BenQ アプリ	71
付録	75
対応する入力解像度	75
対応メディア形式	76
トラブルシューティング	78
著作権と免責事項	80

製品サポート.....	81
安全のために.....	82

概要

本章では、BenQ Board CP05/CM05 インタラクティブ電子黒板の基本的な情報を説明します。

CP05/CM05 について

BenQ Board Pro CP05 および BenQ Board Master CM05 は、BenQ が製造する Google ELDA 認証のインタラクティブ電子黒板です。本製品は、Octa-core チップセット、最高レベルのハードウェアおよびソフトウェア、Google モバイルサービスのすべてのコンピューティング力が統合されています。BenQ Board をお使いの方は、インタラクティブ電子黒板を活用して効率的な学習体験とワークスペースのコラボレーションを実現します。

仕様



重要

BenQ 製品のハードウェアまたはソフトウェアを改ざんすると、保証の対象外となりますのでご注意ください。BenQ はハードウェアおよびソフトウェアの両方に対し、許可していない改ざん、およびサードパーティのアドオンやアプリケーションをインストールした結果により生じたダメージやデータの消失については、いかなる保証も行いません。

パネル

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
スクリーンサイズ	55"	75"
パネルタイプ	ADS	ADS
解像度	UHD 3840 x 2160 ピクセル	UHD 3840 x 2160 ピクセル
アクティブエリア	1211.6 x 682.4 mm	1651.7 x 929.9 mm
応答速度	< 8 ms	< 8 ms
アスペクト比	16:9	16:9
方向	横向き / 縦向き	横向き
コントラスト比	1200:1	1200:1
ダイナミックコントラスト比	50000:1	50000:1
色深度	10 ビット	10 ビット
色域	95% DCI-P3	95% DCI-P3
パネルの輝度（ガラスなし）	450 cd/m ²	450 cd/m ²
バックライトの寿命	50000 時間	50000 時間

ガラス

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
硬度	9H 強化ガラス	9H 強化ガラス
耐菌性スクリーン	ナノイオニクス銀	ナノイオニクス銀
抗グレア	あり	あり

タッチスクリーン

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
タッチテクノロジー	CP5505：PCAP、CM5505：赤外線遮断方式	CP7505：PCAP、CM7505：赤外線遮断方式
タッチポイント	最大 50	最大 50

システム

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
CPU	Arm Cortex-A78 x 2 + A55 x 6	Arm Cortex-A78 x 2 + A55 x 6
GPU	Arm Mali-G57 MC2	Arm Mali-G57 MC2
メモリ	16 GB	16 GB
ストレージ	256 GB	256 GB
オペレーティングシステム	Android 15 (EDLA)	Android 15 (EDLA)

接続

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
USB-C	1 x USB-C 出力 2.0 1 x 2.0 (データのみ) 1 x 3.0 (PD 65W)	1 x USB-C 出力 2.0 1 x 2.0 (データのみ) 1 x 3.0 (PD 65W)
	 注意 - すべての USB-C ポートがデータ通信に使用できます。 - 給電に対応する USB 3.0 のみタッチに使用できます。 - USB-C 出力はタッチバックに使用できます (HDMI IN が必要です)。	
USB Type-A	2 x 3.0	2 x 3.0
HDMI 入力	1 x HDMI 2.0	1 x HDMI 2.0
オーディオ出力	1 x 3.5 mm オーディオ出力端子	1 x 3.5 mm オーディオ出力端子
RS-232	1	1
OPS スロット (スロットイン PC 用)	1	1
Ethernet	Gigabit Ethernet (10M/100M/1000M)	Gigabit Ethernet (10M/100M/1000M)
Wi-Fi	Wi-Fi 6	Wi-Fi 6

内蔵周辺機器

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
カメラ	50MP、DFOV 160°、4K	50MP、DFOV 160°、4K
NFC センサー	1	1
IR センサー	1	1
環境光センサー	1	1
マイク	8 マイクロフォンアレイ (最大 12 m 39 ft)	8 マイクロフォンアレイ (最大 12 m 39 ft)
スピーカー	2 x 15 W (最大)	2 x 25 W (最大)
サブウーファー	NA	1 x 40 W

電源

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
ENERGY STAR®	あり	あり
電源	AC 100-240V 50/60Hz	AC 100-240V 50/60Hz
スタンバイ時の電力消費量	< 0.5 W	< 0.5 W
標準の電力消費量	95 W	135 W

本体

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
寸法（幅 x 高 x 奥）	CP：1272.8 x 799.6 x 85.2 mm (50.11 x 31.48 x 3.35 in)/ CM：1272.9 x 799.5 x 91.6 mm (50.11 x 31.48 x 3.61 in)	CP：1720.7 x 1052.7 x 97.5 mm (67.74 x 41.44 x 3.84 in)/ CM：1720.7 x 1052.7 x 103.9 mm (67.74 x 41.44 x 4.09 in)
出荷寸法（幅 x 高 x 奥）	1380 x 880 x 200 mm	1880 x 1135 x 220 mm
重量（製品 梱包）	CP5505：32.4 kg 40.6 kg (+/-1 kg) 71.4 lbs 89.5 lbs (+/-2.2 lbs)/ CM5505：30 kg 37.6 kg (+/-1 kg) 66.1 lbs 82.9 lbs (+/-2.2 lbs)	CP7505：55 kg 74 kg (+/-1 kg) 121.3 lbs 163.1 lbs (+/-2.2 lbs)/ CM7505：52.8 kg 70.1 kg (+/-1 kg) 116.4 lbs 154.5 lbs (+/-2.2 lbs)
マウント（ネジ）	VESA 400 x 400 mm (4 x M6 x 20L)	VESA 800 x 400 mm (4 x M8 x 25L)
ペンホルダー	1	1

環境

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
動作温度	0°C~40°C 32°F~104°F	0°C~40°C 32°F~104°F
保管温度	-10°C~60°C 14°F~140°F	-10°C~60°C 14°F~140°F
保管湿度	20%~90% RH 結露なきこと	20%~90% RH 結露なきこと
動作湿度	20%~80% RH 結露なきこと	20%~80% RH 結露なきこと

ソフトウェア

型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
ホワイトボード	EZWrite 6	EZWrite 6
ワイヤレススクリーン共有	InstaShare 2	InstaShare 2
アカウント管理	AMS	AMS
デバイス管理	DMS	DMS
クイックアクセスツール	Floating Tool	Floating Tool
ブロードキャストシステム	X-Sign Broadcast	X-Sign Broadcast
会議管理	MeetingRoom	MeetingRoom
	SummarAI	SummarAI

アクセサリ

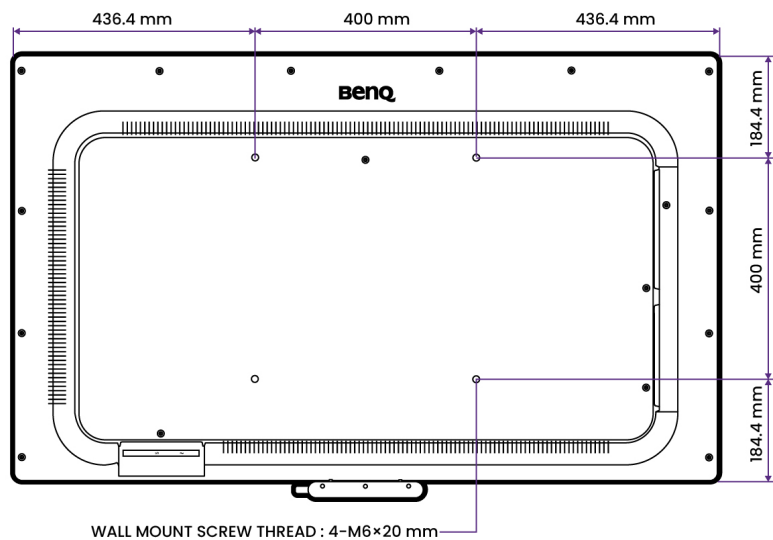
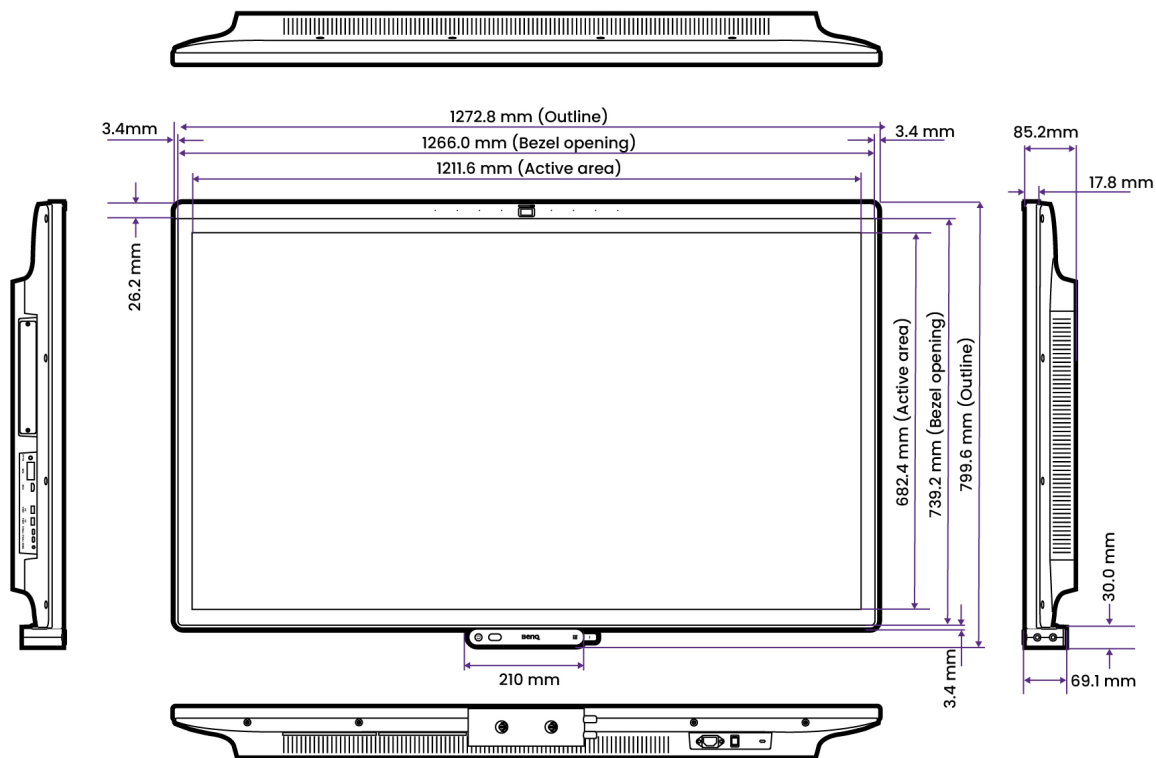
型番	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
ケーブル	• 1 x HDMI (3 m 9.8ft) • 1 x USB-C から A (3 m 9.8ft) • 1 x USB-C (1.5 m 4.9 ft) • 1 x RS232 ケーブル (1.8m 5.9 ft) • 電源コード 3 m (地域別)	• 1 x HDMI (3 m 9.8ft) • 1 x USB-C から A (3 m 9.8ft) • 1 x USB-C (1.5 m 4.9 ft) • 1 x RS232 ケーブル (1.8m 5.9 ft) • 電源コード 3 m (地域別)
壁掛け金具	1	1
ペン	CP5505：アクティブ x 1、 パッシブ x 1 CM5505：パッシブペン x 2	CP7505：アクティブ x 1、 パッシブ x 1 CM7505：パッシブペン x 2



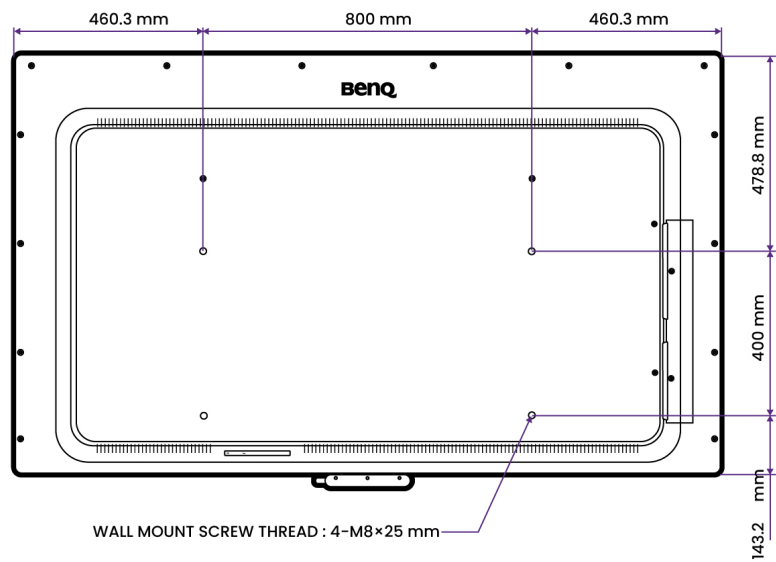
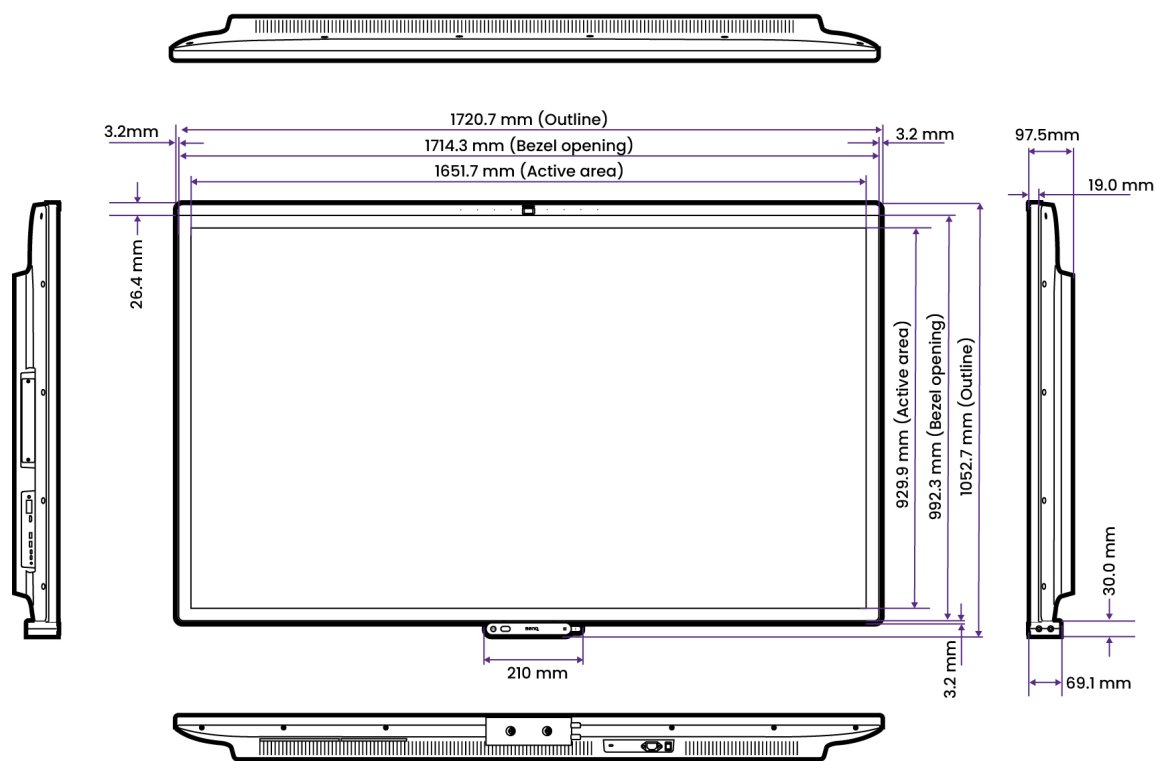
注意

- 仕様および機能は、将来予告なく変更される場合があります。

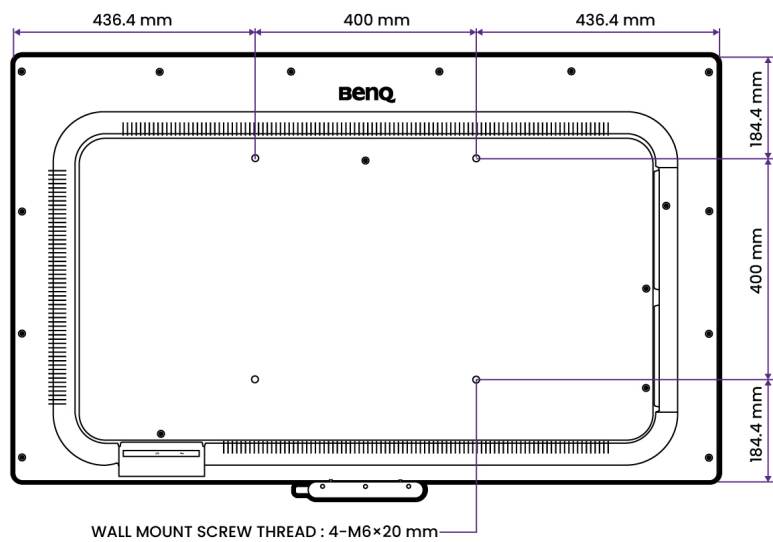
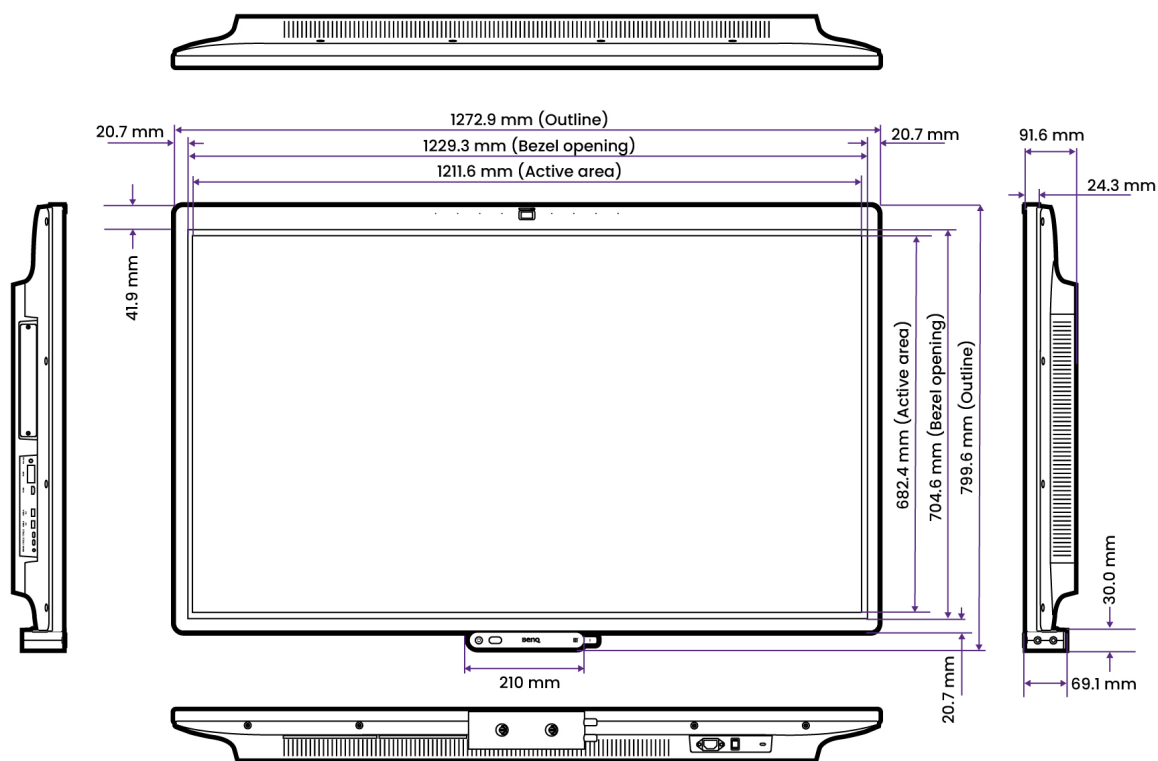
寸法
CP5505



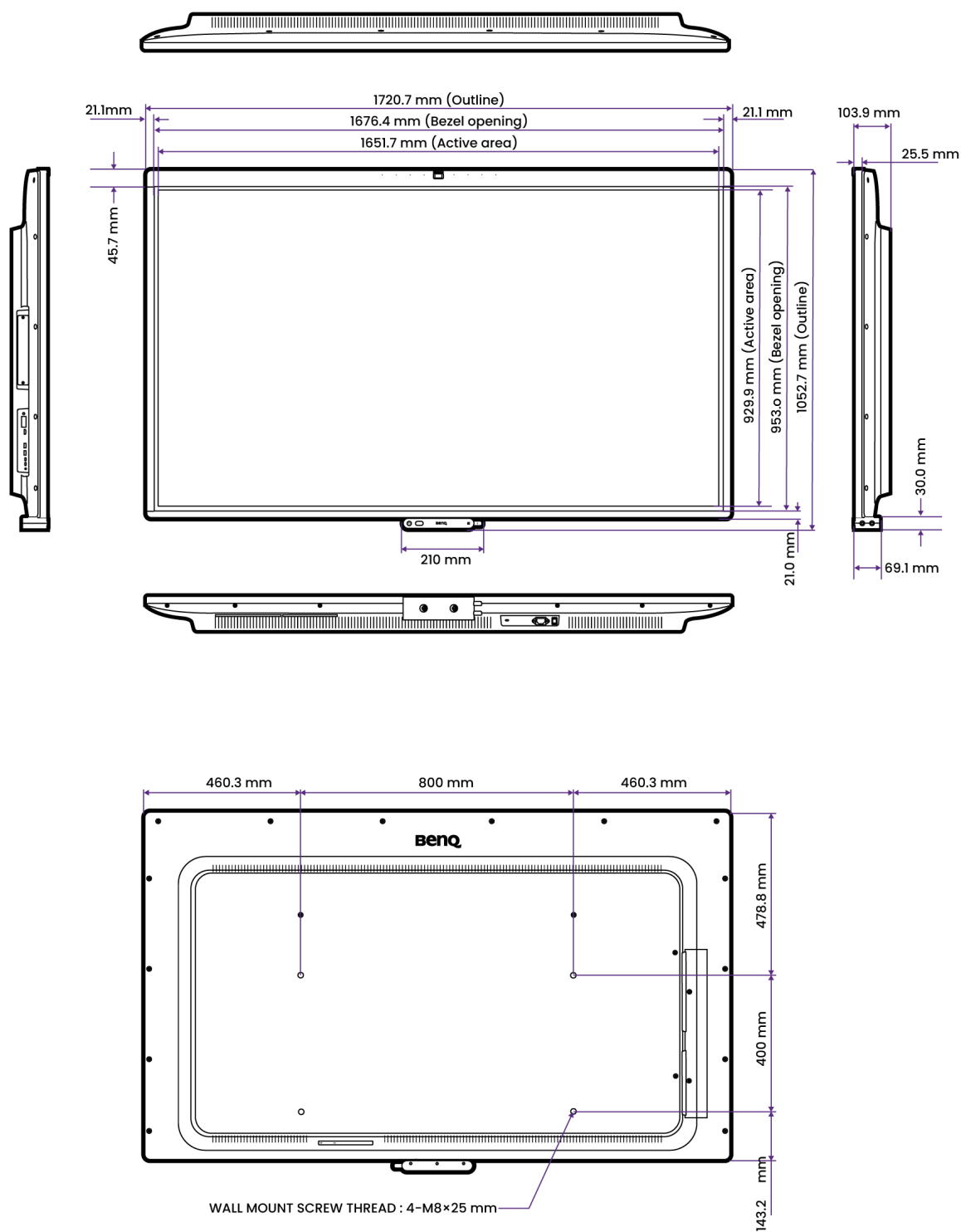
CP7505



CM5505



CM7505



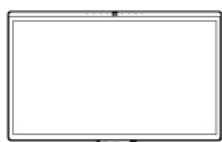
同梱品

開封後は、すべてのコンテンツが揃っていることを確認してください。欠損しているものがあった場合には、すぐにお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

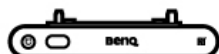


注意

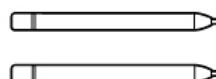
- ・同梱品と本書に記載される画像は、地域により異なります。同梱されていないアイテムがある場合は、別途ご購入ください。
- ・電源コードのタイプと数は、購入された地域により異なります。



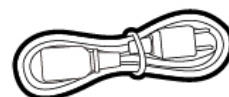
インタラクティブ
電子黒板



ネジ付き
ペンホルダー



NFC タグなしペン
CP05：1 x アクティブ
ペン、1 x パッシブペン
CM05：2 x パッシブペン



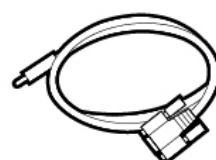
電源コード（地域別）



USB Type-C ケーブル



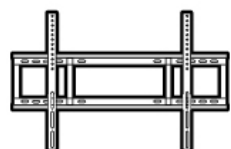
USB Type-C から A
ケーブル



RS232 ケーブル



HDMI ケーブル



ネジ付き壁掛け金具



ユーザードキュメント
（クイックスタートガイ
ド、壁掛け金具イン
ストールガイド、レギ
ュレーションシート）

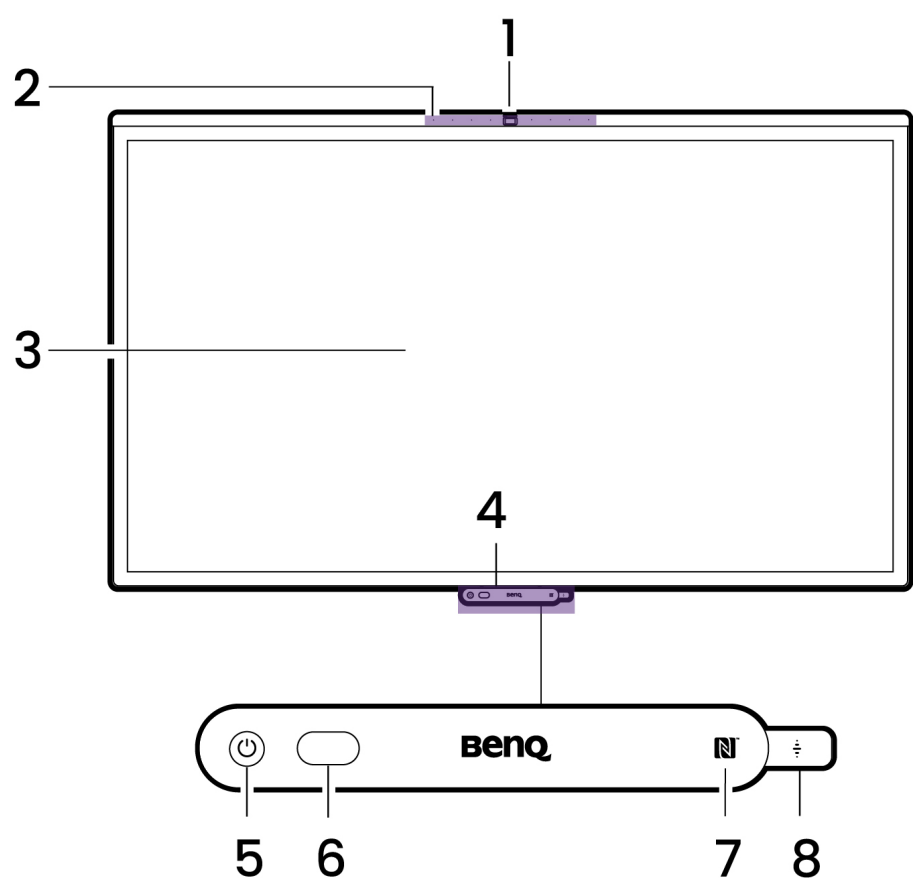


重要

- ・同梱品と本書に記載される画像は、地域により異なります。同梱されていないアイテムがある場合は、別途ご購入ください。
- ・梱包材を破棄する前に、中にアクセサリ類が残っていないか確認してください。
- ・ビニール製の袋は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- ・梱包材は環境に配慮して処分してください。段ボール箱は再利用されるか、または梱包材は将来移動する場合に備えて保管してください。

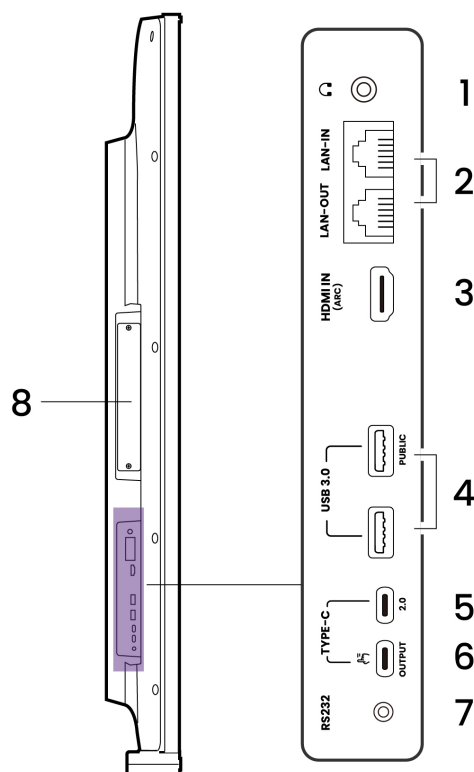
コンポーネント

正面パネル



番号	コンポーネント	番号	コンポーネント
1	カメラ	5	電源ボタン
2	8 マイクロフォンアレイ	6	IR センサー & 環境光センサー
3	タッチスクリーン	7	NFC センサー
4	ペンホルダー	8	タッチペン

左パネル



1. 3.5 mm オーディオ出力端子¹
2. Gigabit Ethernet ポート²
3. HDMI 入力ポート³
4. USB 3.0 Type-A ポート⁴
5. USB 2.0 Type-C ポート
6. USB 2.0 Type-C 出力ポート⁵
7. RS-232 ポート
8. カバー付き OPS スロット



注意

¹ 3.5 mm オーディオ出力端子は、ヘッドセット機器からのマイクロフォン入力を含め、オーディオ入力には対応しません。

² Gigabit Ethernet ポートは、データ転送速度 10/100/1000 Mbps に対応します。

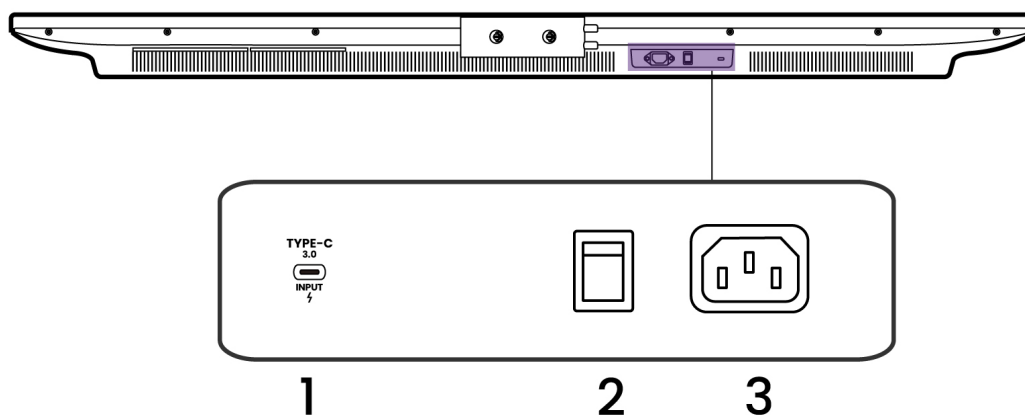
³ HDMI1 ポートは HDMI ARC に対応します。詳細は、[出力](#)を参照してください。

⁴ これらの USB 3.0 Type-A ポートは、USB パススルーポートとして機能します。ノートパソコンが入力源として電子黒板に接続されている場合は、これらをノートパソコン用の予備のデータポートとして使用することができます。

⁵ USB 2.0 Type-C 出力ポートは、BenQ Board スクリーンを別のデバイスに拡張できます。データ、映像、音声、タッチ機能の伝送も可能です。

- ・フラッシュドライブを一度にすべての USB ポートに接続すると、性能が低下するためお止めください。
- ・ホコリが溜まらないように、出入力ポートは定期的にお手入れしてください。

底面パネル



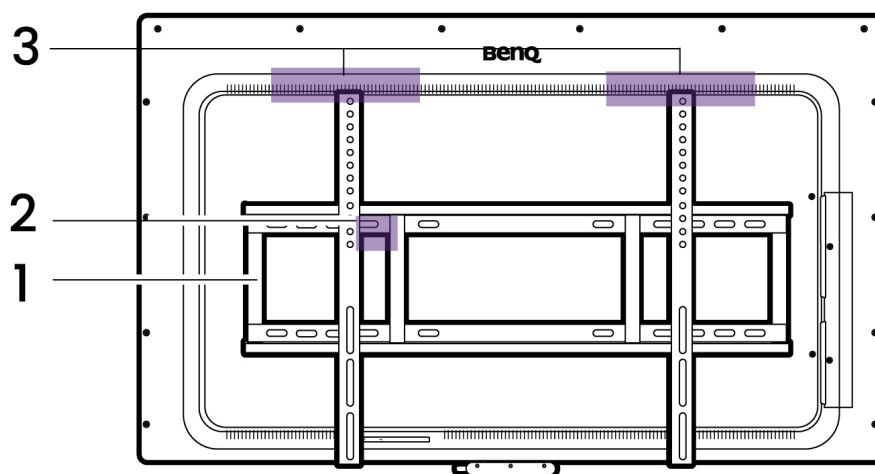
1. USB 3.0 Type-C 入力ポート ¹
2. 電源スイッチ ON で起動
3. 電源入力



注意

¹ USB 3.0 Type-C 入力ポートを使用して、デバイスを別のデバイスに接続できます。65W 給電と、データ、映像、音声、タッチ機能の伝送も可能です。
・ホコリが溜まらないように、出入力ポートは定期的にお手入れしてください。

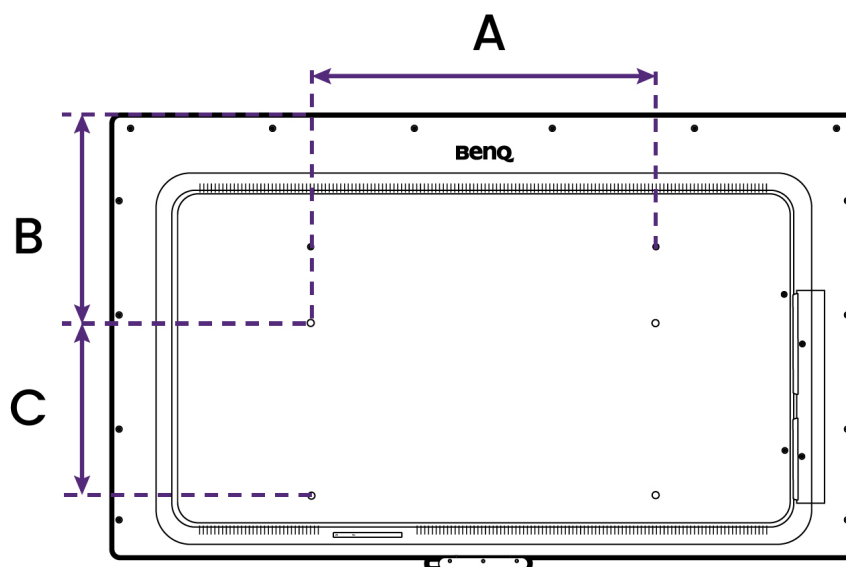
背面パネル



1. 壁掛け金具（設置済み）
2. 40 W サブウーファー（CP7505/CM7505 のみ）
3. スピーカー

Vesa 仕様

ネジサイズ：55"：M6 x 20L、75"：M8 x 25L



寸法	CP5505/CM5505	CP7505/CM7505
A	400 mm	800 mm
B	184.4 mm	478.8 mm
C	400 mm	400 mm

設置要件

カテゴリー	項目
環境	・ 室内温度：0 - 40°C (32 - 104°F) ・ 非結露相対湿度：20 - 80% ・ 直射日光、液体、化学物質の影響を受けない、平坦で帯電しない場所
ハードウェアと周辺機器	Ethernet ケーブル
ツール	・ ハサミ ・ プラスドライバー ・ 緩衝材 ・ 帯電防止リストストラップ

電子黒板の設置

1. 要件を満たした環境に電子黒板を設置してください。
詳細は、[設置要件](#)を参照してください。
2. 電子黒板を DMS に追加します。
詳細は、[電子黒板を DMS に追加する](#)を参照してください。
3. 電子黒板を箱から取り出します。
詳細は、[開封](#)を参照してください。
4. 電子黒板を取り付けます。
詳細は、[取り付け](#)を参照してください。
5. 追加のアクセサリや周辺機器を設置します。
詳細は、次のトピックを参照してください。
 - [外付け PC](#)
6. 電源コードと必要なすべてのケーブルを接続します。
7. 電子黒板の電源を入れます。
詳細は、[電子黒板の電源を入れる](#)を参照してください。
8. BenQ Launcher を設定します。
詳細は、[BenQ Launcher の設定](#)を参照してください。
9. 電子黒板を AMS に紐づけます。
詳細は、[電子黒板を AMS に紐づける](#)を参照してください。

インストールと構成

この章では、特定のハードウェアやソフトウェアのインストールと構成の手順を説明します。

電子黒板を DMS に追加する

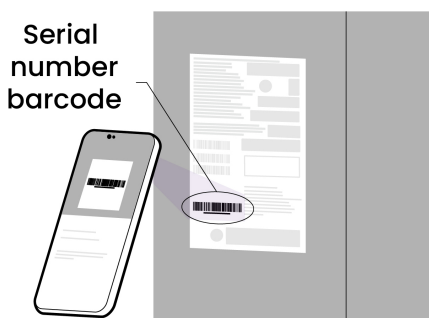
BenQ Device Management Solution (DMS) は、IT 管理者が遠隔操作で BenQ のインタラクティブ電子黒板を管理できるデバイス管理のプラットフォームです。DMS についての詳細は、DMS の取扱説明書をお読みください。



ヒント

それぞれの電子黒板を箱から取り出す前に、IT 管理者はデバイスのシリアル番号のバーコードをスキャンすると DMS デバイスリストに追加できます。BenQ は、デバイスとファームウェアを簡単に管理するためには、この手順に従うことをお勧めします。

1. モバイル機器に DMS アプリをインストールして起動します。
2. DMS 管理者のアカウントでログインします。
3. **+** をタップします。
4. 箱の側面にあるシリアル番号のバーコードをスキャンします。



5. デバイス名と説明を入力し、**追加**をタップします。

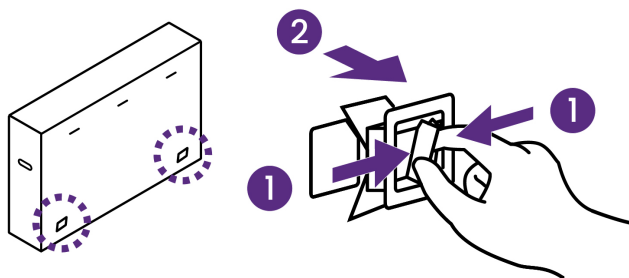
開封



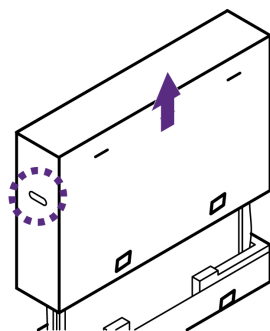
警告

重篤なケガや電子黒板へのダメージを防止するには、2 人以上の専門の技術者に設置してもらってください。専門の技術者以外の方が取り付けを行った場合は、BenQ は一切の責任を負いかねます。

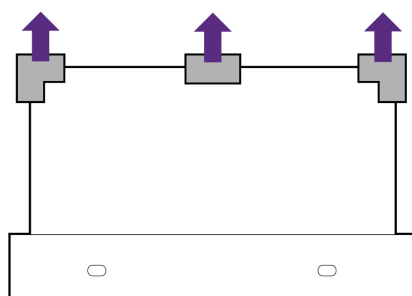
1. 清潔で安定した場所に、正しい位置に箱を置きます。
2. 箱を開けます。
 - a. 箱のひもを切ります。
 - b. クリップを開けます。ハンドルを同時につまみ、そのまま引き出します。クリップの総数はモデルごとに異なります。



c. 両側面のフラップを使って、慎重に箱から電子黒板を取り出します。



3. パネルのプロテクターを外します。



4. すべてのアクセサリをまとめてください。



重要

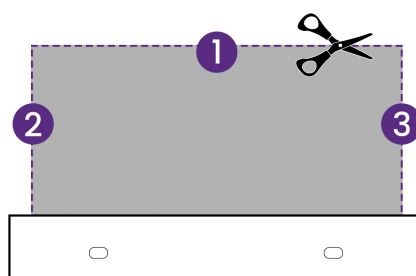
元の梱包材を破棄する前に、それぞれの箱と梱包品が揃っていることを確認してください。詳細は、[同梱品](#)を参照してください。

5. 保護カバーを丁寧に切り取ってください。



ヒント

電子黒板を簡単に取り外すには、カバーの3辺を切ってください。



取り付け

本製品には、あらかじめ壁掛け金具が装着されていますが、必要に応じて別のタイプに交換できます。取り付け方法については、使用する壁掛け金具やスタンドのユーザーガイドをご参照ください。



警告

重篤なケガや電子黒板へのダメージを防止するには、次のことを確認してください：

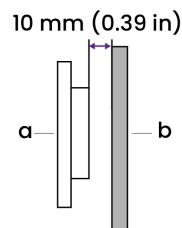
- 電子黒板の設置は、2人以上の専門の技術者が行ってください。専門の技術者以外の方が取り付けを行った場合は、BenQは一切の責任を負いかねます。
- 設置の手順に従って電子黒板がしっかりと取り付けられていることを確認してください。

壁への取り付け



重要

適切な通気を保つために、電子黒板の背面と壁の間を 10 mm (0.39 インチ) 以上空けてください。壁掛け金具を取り付ける場合は、次のものにご注意ください。



(a) 電子黒板

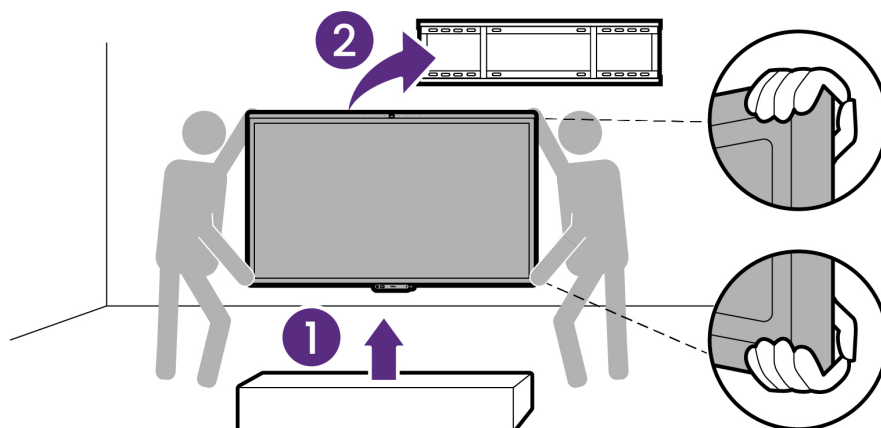
(b) 壁

1. 壁掛け用プレートがしっかりと壁に取り付けられていることを確認します。
2. 壁掛け金具がしっかりと電子黒板に取り付けられていることを確認します。
3. 電子黒板を正しい位置に持ち上げて、プレートの方へ向けて動かします。



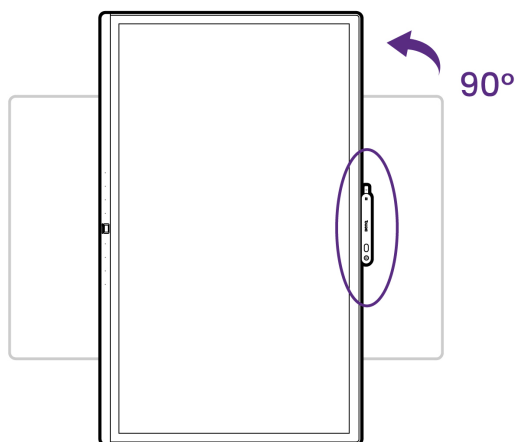
重要

- 電子黒板は、それぞれの辺に 1 人がつき、2 人以上で取り扱う必要があります。
- 両手で電子黒板を持ち上げます。上部の角に片手を置き、もう片方の手で下端を支えます。



縦置き (55" のみ)

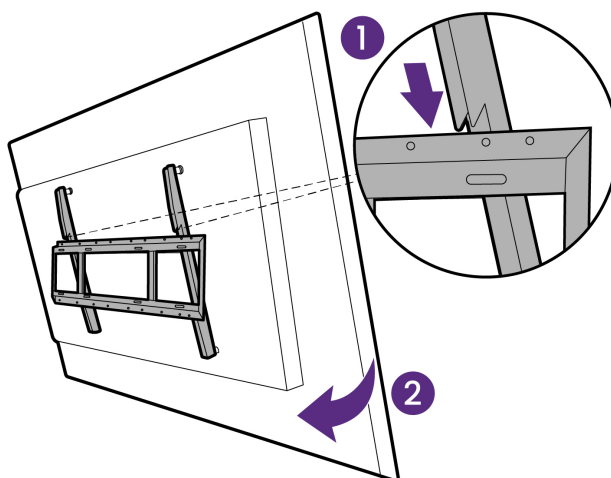
電子黒板は横置きと縦置きの両方に対応します。縦置きに設置するには、背面の取り付けブラケットを壁掛け金具に合わせて調整し、電子黒板に向かったときにペンホルダーが右側になるように、電子黒板を反時計回りに 90 度回転させます。



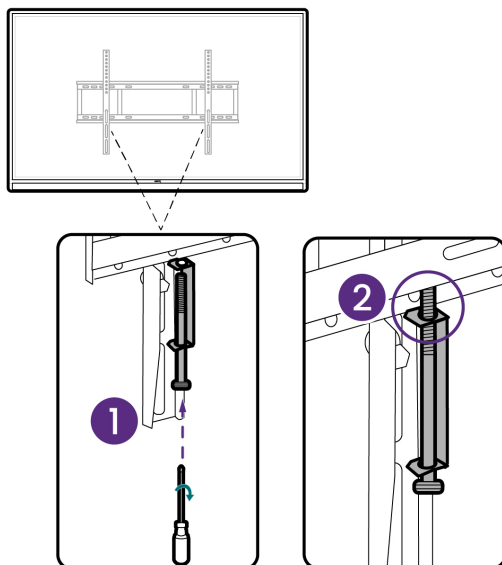
重要

電子黒板を壁に設置する前に、背面の取り付けブラケットを壁掛け金具に合わせて調整してください。

4. 金具の穴と取り付け用プレートの位置を合わせて、電子黒板を壁に取り付けます。

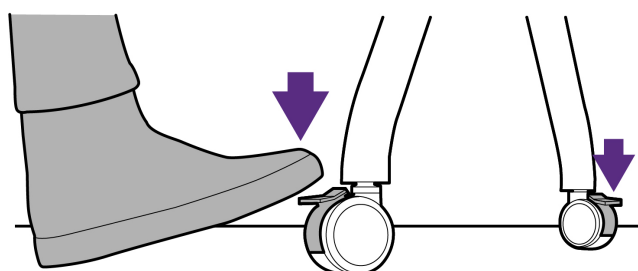


5. ロック用のネジでしっかりと金具を固定します。



カートへの取り付け

1. キャスターのストッパーをすべて下げて固定します。

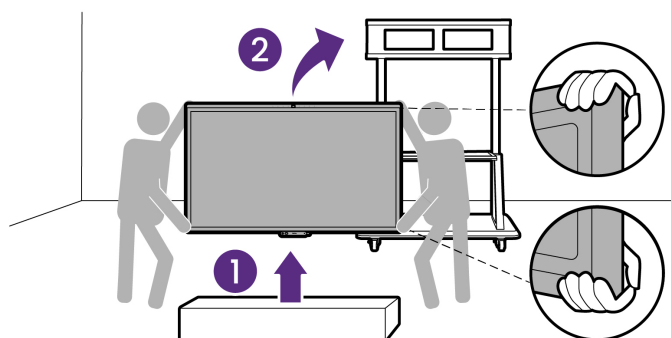


2. 壁掛け金具がしっかりと電子黒板に取り付けられていることを確認します。
3. 電子黒板を正しい位置に持ち上げて、カートへ運びます。

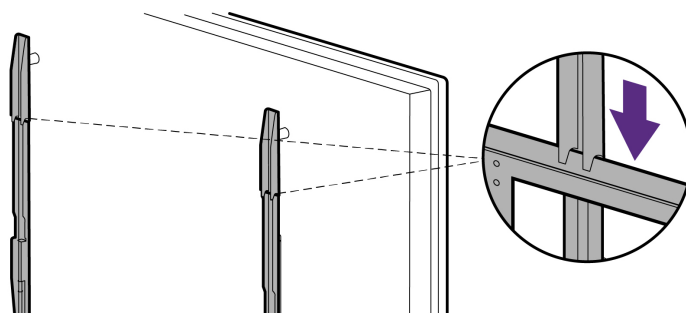


重要

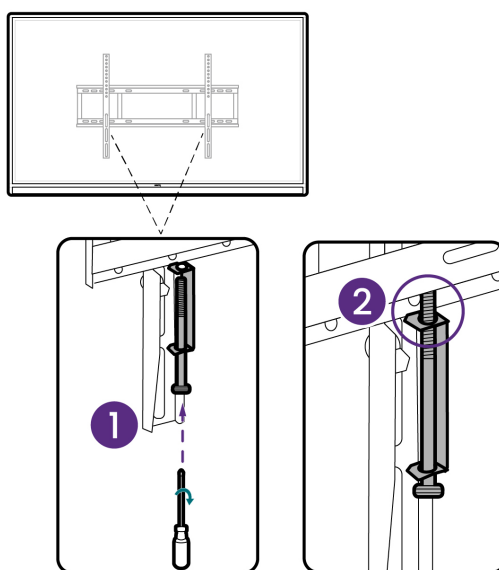
- 電子黒板は、それぞれの辺に1人がつき、2人以上で取り扱う必要があります。
- 両手で電子黒板を持ち上げます。上部の角に片手を置き、もう片方の手で下端を支えます。



4. 金具と取り付け用プレートの位置を合わせて、電子黒板をカートに取り付けます。



5. ロック用のネジでしっかりと金具を固定します。



元の壁掛け金具を外す

1. 平面で水平かつ物が置かれていない場所に緩衝材を置いてください。



重要

- ・電子黒板に跡が残らないように、緩衝材が清潔で柔らかく、乾いていることを確認してください。
- ・緩衝材のサイズは電子黒板よりも大きい物を用意してください。

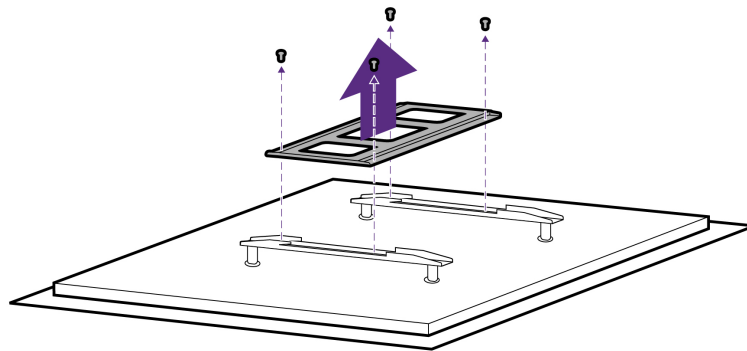
2. 緩衝材の上に、スクリーン側を下向きに電子黒板をゆっくりと置いてください。



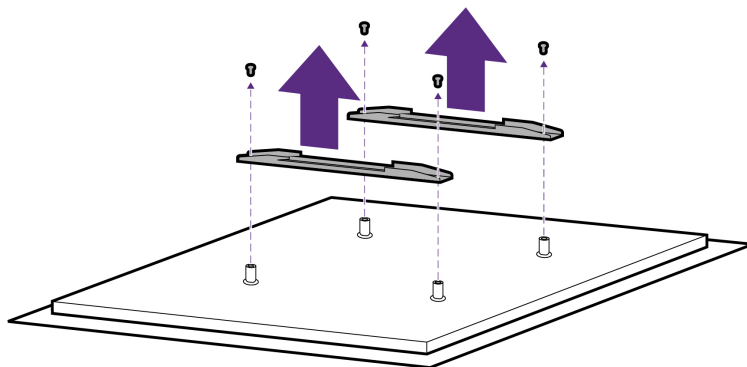
警告

電子黒板へのダメージを防止するために、壁掛け金具を時、電子黒板を踏んだり、寄りかかったり、強く押したりしないでください。

3. 壁掛け用プレートを固定しているネジを外します。
4. ゆっくりとプレートを外します。



5. (オプション) 壁掛け金具を外します。
金具の高さを調整する必要がある場合、または他の壁掛け金具と合うものと交換する必要がある場合は、現在ある金具を外すことができます。
 - a. 壁掛け金具を固定しているネジを外します。
 - b. ゆっくりと金具を外します。



壁掛け金具の取り付け

1. 平面で水平かつ物が置かれていない場所に緩衝材を置いてください。



重要

- ・電子黒板に跡が残らないように、緩衝材が清潔で柔らかく、乾いていることを確認してください。
- ・緩衝材のサイズは電子黒板よりも大きい物を用意してください。

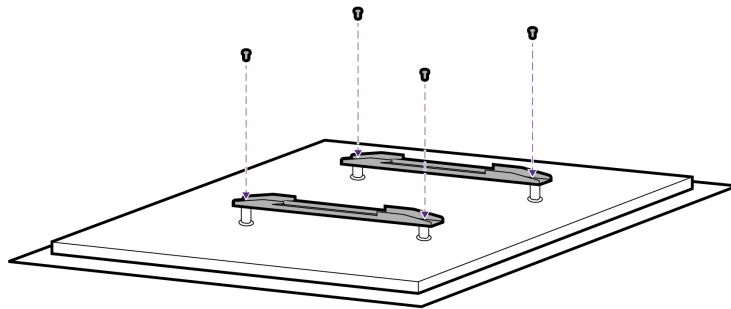
2. 緩衝材の上に、スクリーン側を下向きに電子黒板をゆっくりと置いてください。



警告

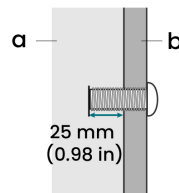
電子黒板へのダメージを防止するために、壁掛け金具を設置する時、電子黒板を踏んだり、寄りかかったり、圧力を掛けたりしないでください。

3. 壁掛け金具の穴と電子黒板の背面にある穴を合わせてください。
部屋の高さに応じて、金具の位置を調整します。詳細は、[Vesa 仕様](#)を参照してください。
4. 金具を正しい位置に固定するためにネジを締めます。



重要

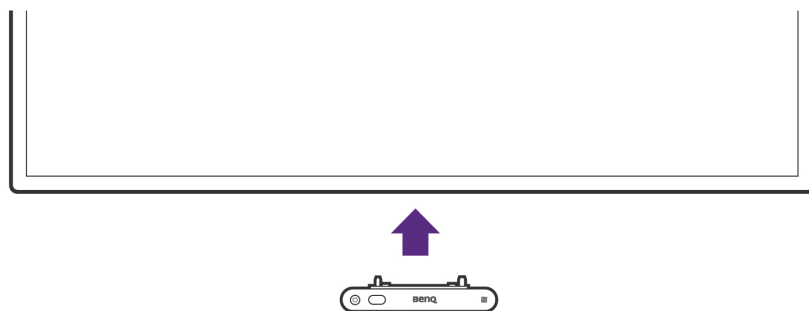
すべてのネジがしっかりと金具に取り付けられていることを確認してください。推奨するトルクは、470-635 N・cm (41.59-56.20 lb・in) です。



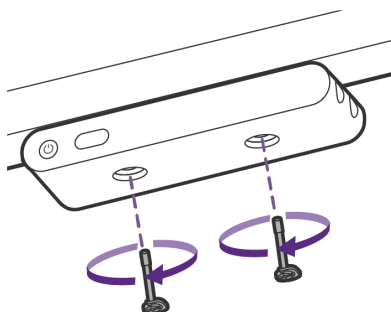
- (a) 電子黒板
(b) 壁掛け金具

ペンホルダーの取り付け

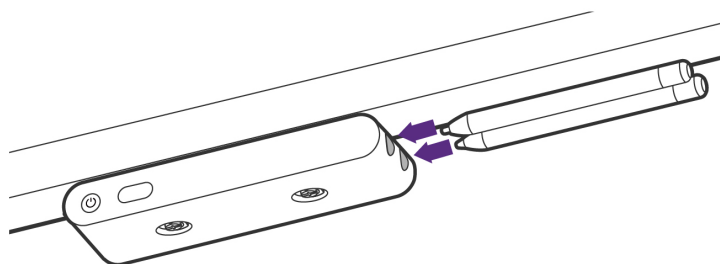
1. ペンホルダーと電子黒板の底面中央にあるネジの位置を合わせてください。



2. ネジを締めて、ペンホルダーがしっかりと固定されていることを確認します。



3. ペンをペンホルダーの穴に置きます。

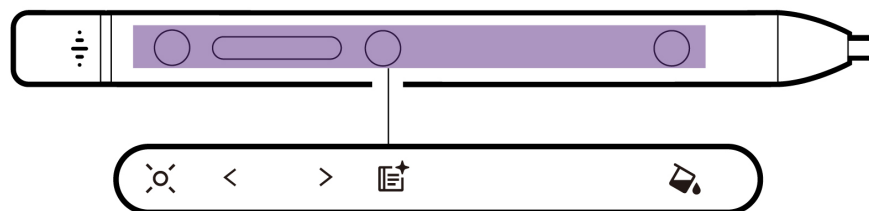


重要

- ・アクティブペン：正面スロットのみ（充電用）。ボタンは正面を向けたままにしてください。
- ・パッシブペン：曲面側を正面にしてください。どちらかのスロットに合わせてください。
- ・ペンの外観は、モデル毎に異なります。上記の画像は、CP05 の例を示しています。

アクティブペンの使い方（CP05 モデルのみ）

アクティブペンはデジタル電子黒板との正確なやり取りを可能にし、**SummarAI** や **音声アシスタント**などのプレゼンテーションやソフトウェアツールで使用できます。



アイコン	操作	説明
	1 回押し	ポインタ
	長押し	
<	1 回押し	ページを上へ
	長押し	スライドショーを終了
>	1 回押し	ページを下へ
	長押し	スライドショーを再生
	1 回押し	SummarAI
	長押し	音声アシスタント
	1 回押し	色を変更
	長押し	消しゴム



注意

- ペン先は、4096 レベルの筆圧感度まで対応できます。
- FCC ID：JVPPA05G
- CAN ICES(B)/NMB(B)
- IC：6175A-PA05G
- モデル名：PA05G



警告

このデバイスは、FCC 規制のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います：(1) この機器が有害な干渉を生じさせないこと (2) この機器が、不適切な操作により生じた干渉を含め、受け取った干渉を受け入れること。

電子黒板の電源を入れる

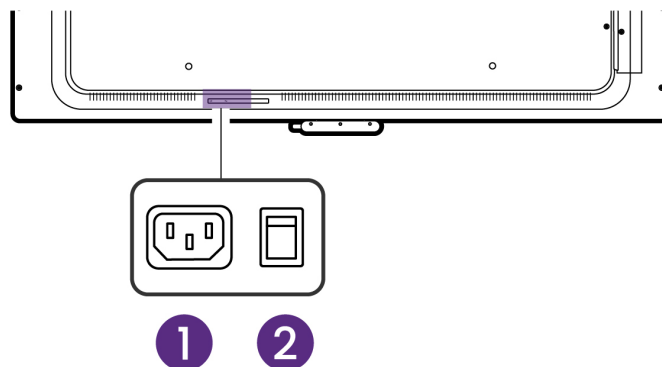
1. 電子黒板が電源コードと電源に接続されていることを確認してください。



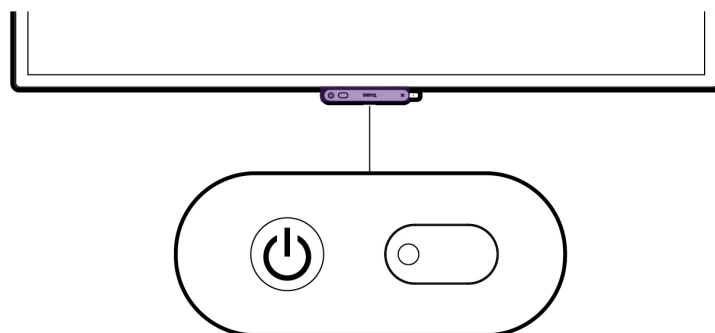
重要

- 付属の電源コードは 100-240V AC に準拠しています。
- コードは地域により異なります。正しいタイプのものをご使用ください。
- 電源コードは、特にプラグや電子黒板に接続した場所に近い部分を人が踏んだり、プラグ、コンセント、機器からコードが出ている部分が挟まったりしないようにしてください。
- 延長コードや複数の電源タップをご使用になる場合は、電力の負荷量にご注意ください。

2. 電源スイッチがオンの位置になっていることを確認してください。



3. 正面の操作パネルの電源ボタンを押します。



外付け PC

OPS スロットイン PC を設置して、別のオペレーティングシステムを使用し、BenQ Board の処理性能を高めることができます。

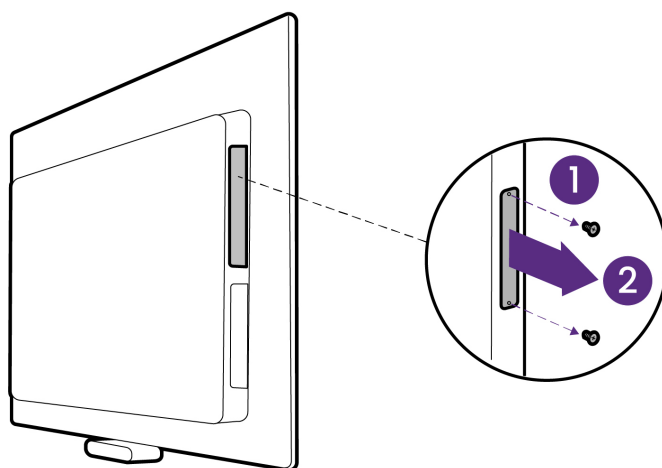
OPS スロットイン PC のインストール

1. BenQ Board の電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを外します。
3. スロットカバーを外します。
 - a. OPS スロットカバーの位置を確認します。
 - b. ネジとカバーを外します。

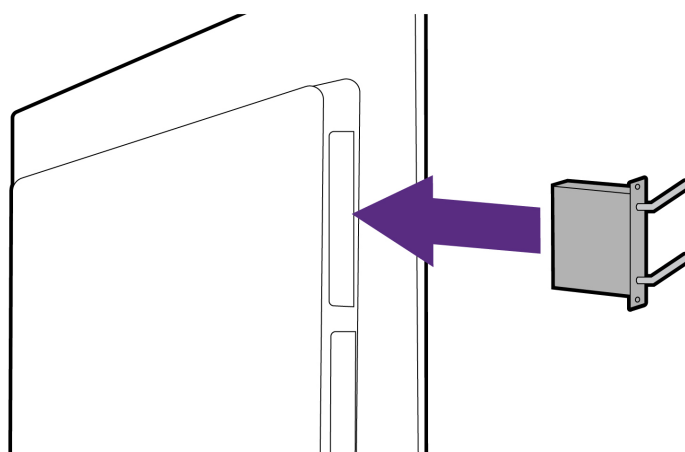


ヒント

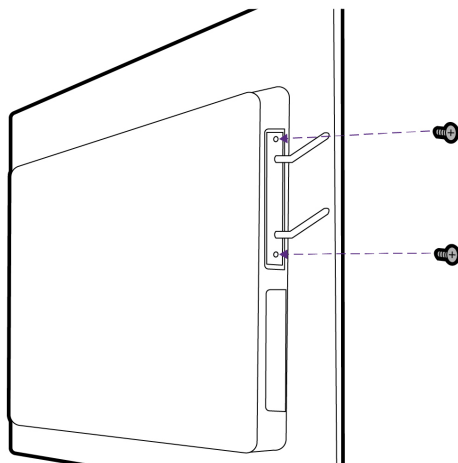
カバーは将来必要になったときのために保管しておいてください。



4. ロックがかかるまで、PC をスロットにスライドさせてください。



5. ネジを締めます。

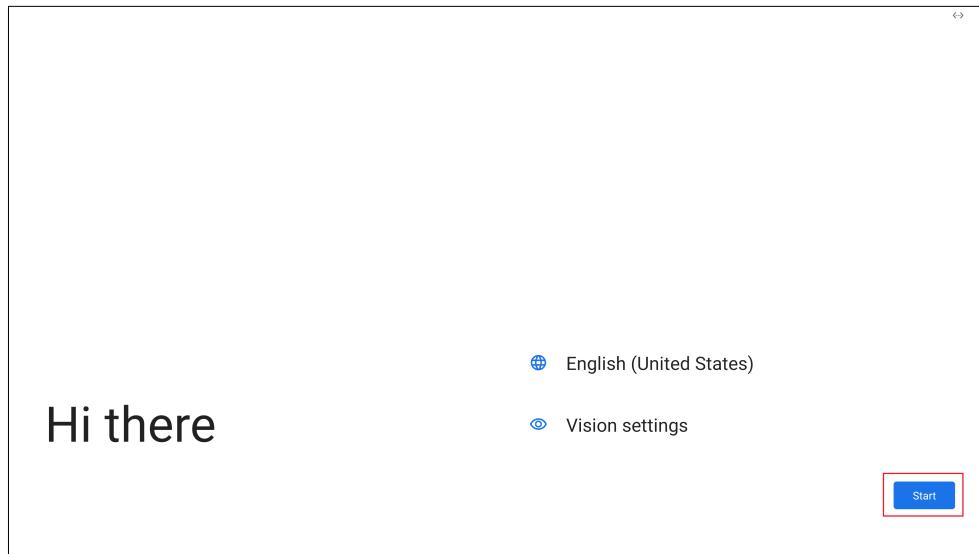


6. コンセントに電源コードを挿入します。

7. BenQ Board を起動します。

BenQ Launcher の設定

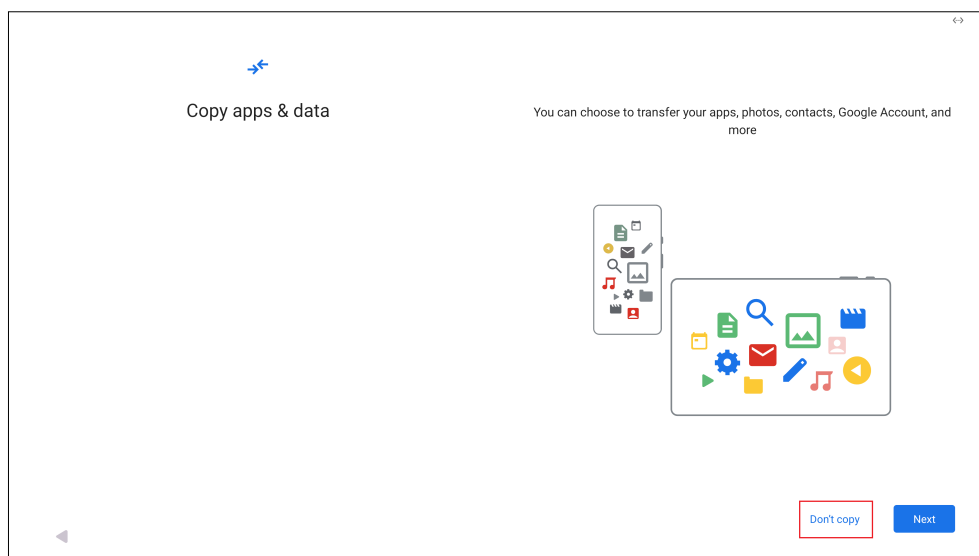
1. BenQ Board を起動します。
2. 言語とビジョンを設定し、**スタート**をタップします。



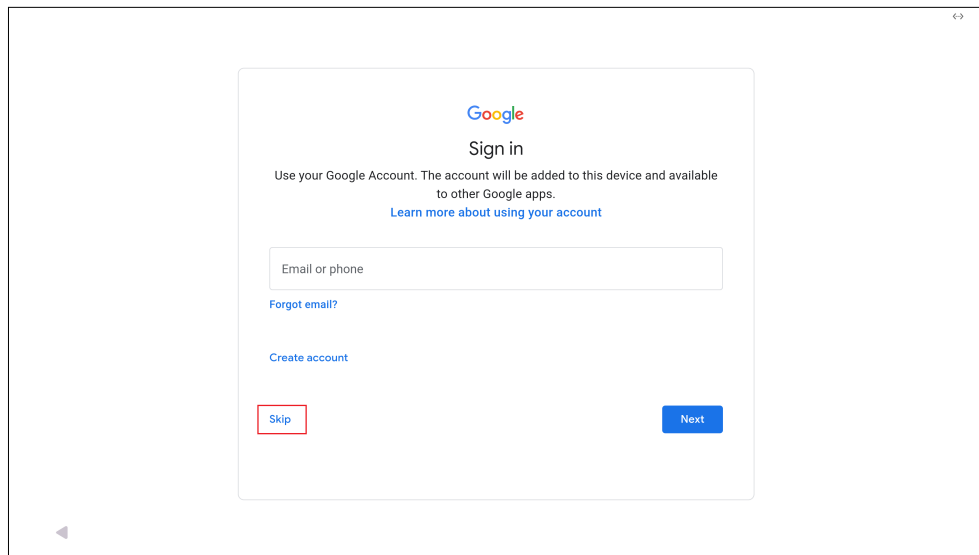
3. インターネット接続に関する手順に従ってください。

インターネット接続		手順
Wi-Fi		a. ネットワークを選択します。 b. ネットワークのパスワードを入力します。 c. 次へ をタップします。
Ethernet		ステップ 4 へ進みます。
オフライン		a. オフライン設定 をタップします。 b. 日付と時間を設定します。 c. 次へ をタップします。 d. ステップ 7 へ進みます。

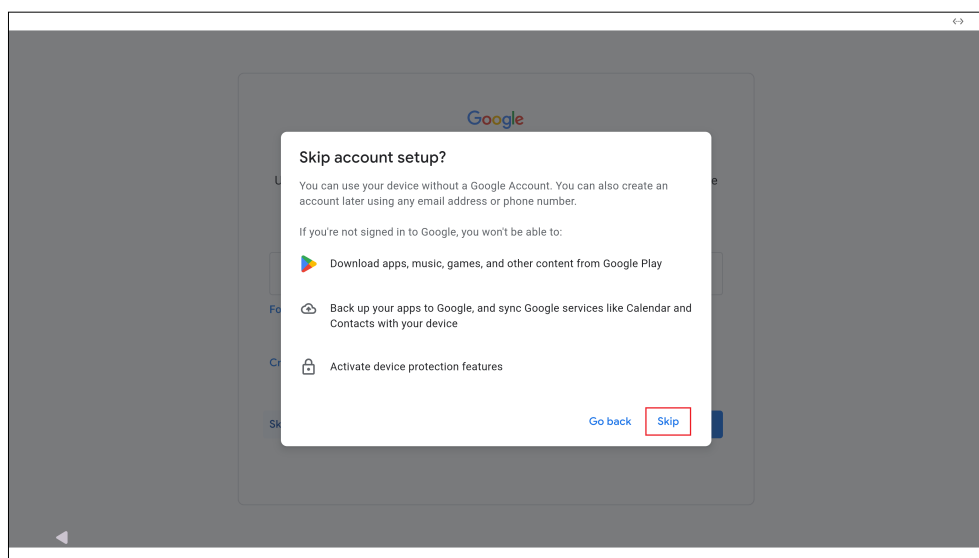
4. **コピーしない**をタップします。



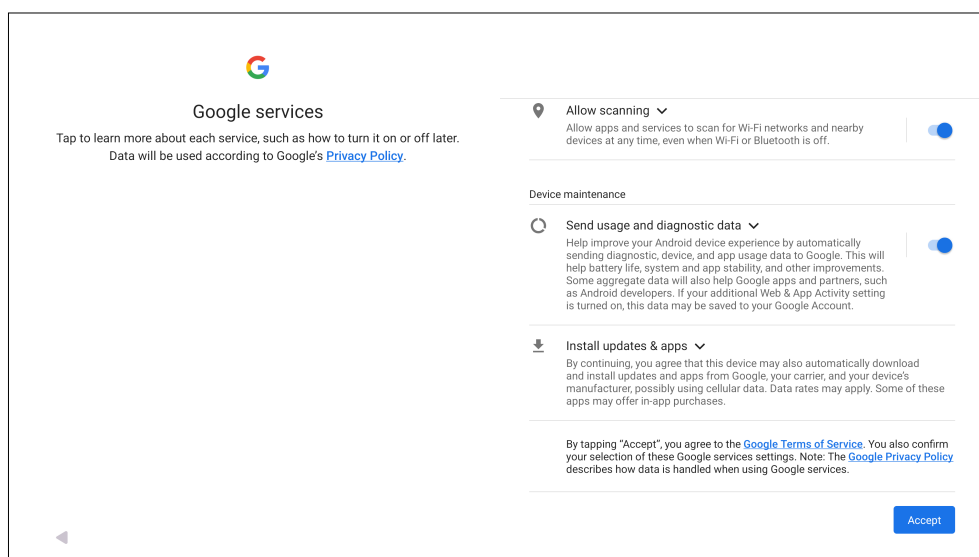
5. スキップをタップします。



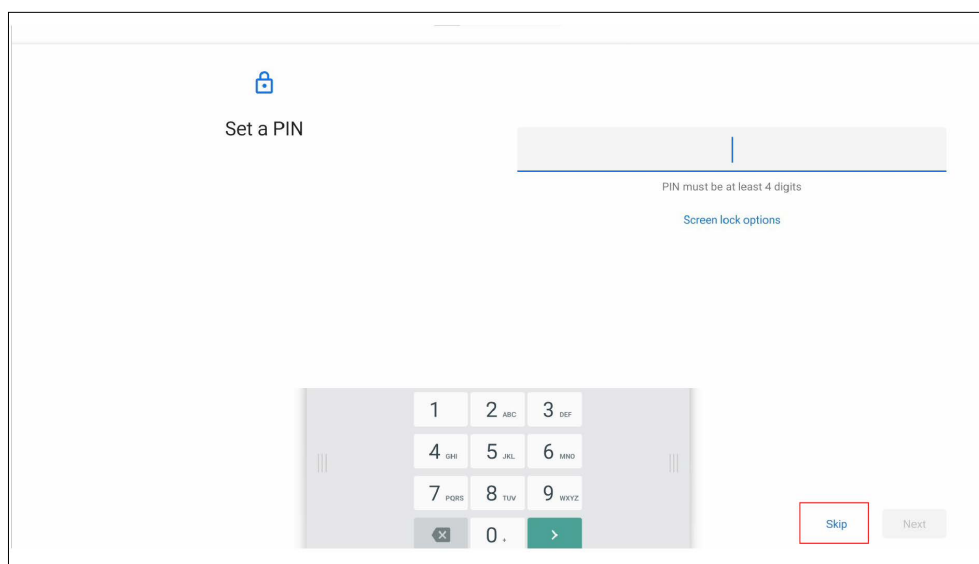
6. スキップをタップします。



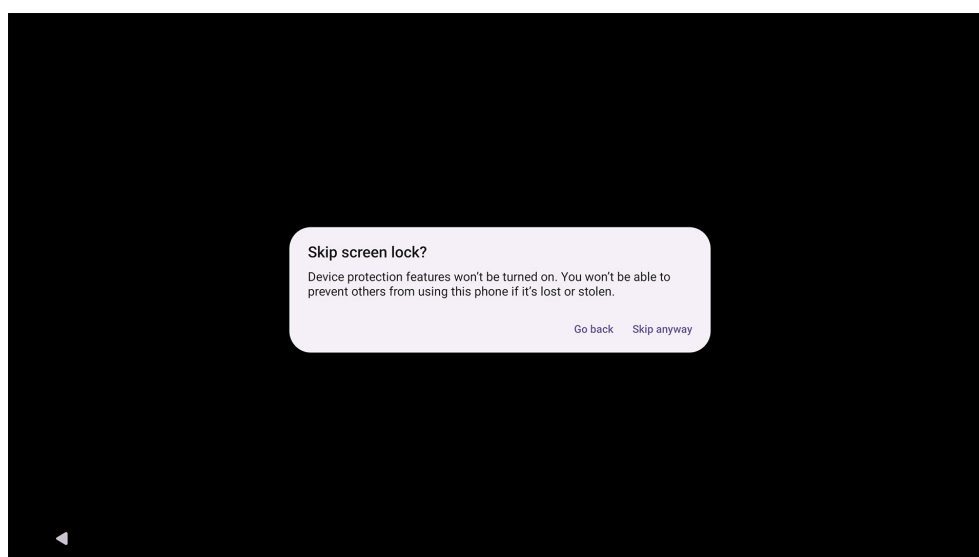
7. 権限を確認して、同意をタップします。



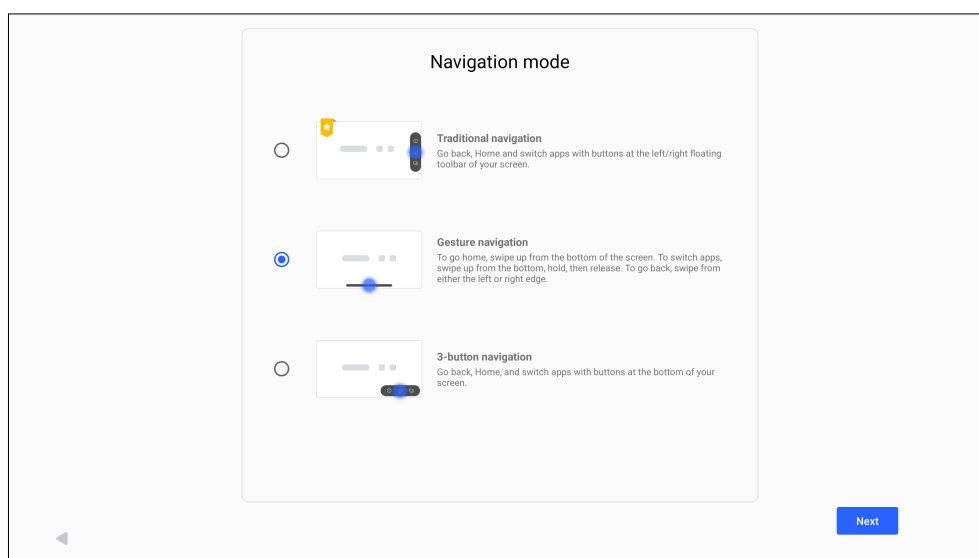
8. スキップをタップします。



9. それでもスキップをタップします。



10. ナビゲーションモードを選択し、次へをタップします。



11. End-User License Agreement（使用許諾契約）をよくお読みになり、条件に同意できたら次へをタップします。

End-User License Agreement(EULA)

obligations under these license terms.

Miscellaneous.

(a) These license terms constitutes the entire agreement between BenQ and you concerning the subject matter hereof, and it may only be modified by a written amendment signed by an authorized executive of BenQ. (b) Except to the extent otherwise provided under applicable law, these license terms will be governed by the law of the Republic of China, excluding its conflict of law provisions and excluding the United Nations Convention on the International Sale of Goods. For any disputes arising out of, or relating to, this contract, the Taiwan Shilin District Court shall be the exclusive court of jurisdiction for the first instance. (c) If any part of these license terms is held invalid or unenforceable, and the remaining portions will remain in full force and effect. (d) A waiver by either party of any term or condition of these license terms or any breach thereof, in any one instance, will not waive such term or condition or any subsequent breach thereof. (e) BenQ may assign its rights under these license terms without condition. (f) These license terms will be binding upon and will inure to the benefit of the parties, their successors and permitted assigns.

Last update: 2024/10/22

☒ I accept the terms of the license agreement

Next

12. プライバシーポリシーを最後までよくお読みになり、次へをタップします。

Privacy Policy

use our services.

Data Retention

We will not keep your personal data for longer than is reasonably necessary for the purpose it was collected. This means that we process and retain information about you at least the duration for which the information is used to provide you with a service. Despite your request for deletion, BenQ reserves the right to keep the residual personal information, or a relevant part of it, in BenQ's records and archives for some time, in compliance with applicable law, but BenQ will not use that information for commercial purposes.

Contact us

If you have any specific questions, please contact us at:

BenQ Corporation 16 Jihu Road Neihu, Taipei 114 Taiwan Phone: +886-2-2727-8899 Fax: +886-2-2656-2438	BenQ Europe B.V. Meerenakkerweg 1-17, 5652 AR Eindhoven, The Netherlands Phone: +31(0)88 888-9200 Fax: +31(0)88 888-9299
--	--

☒ Agree ☐ Disagree

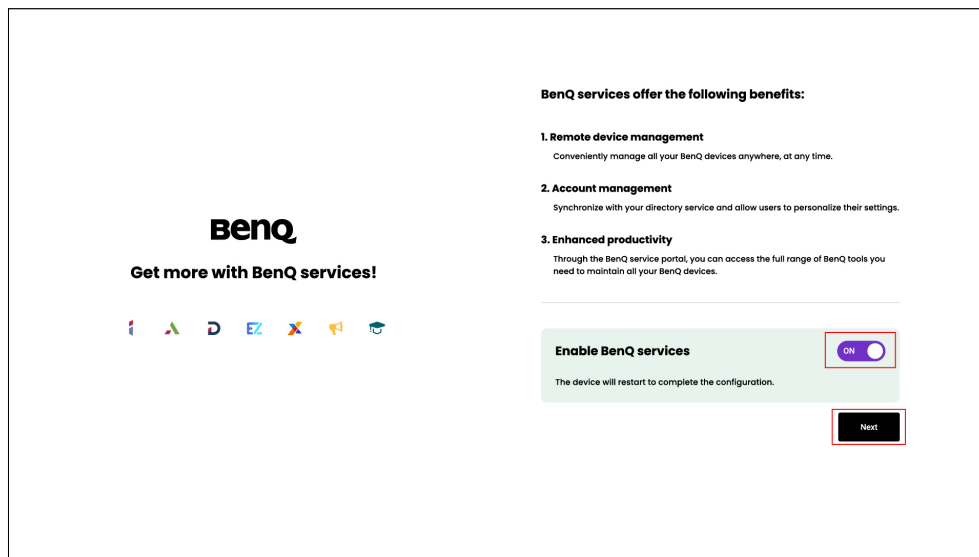
Next

13. BenQ services 画面で BenQ services を有効にするをタップし、次に次へをタップします。



重要

BenQ services を有効にすると、IT 管理者は電子黒板とユーザー管理機能へのフルアクセスが許可されます。後から BenQ services を有効にする場合、電子黒板を初期化し、BenQ Launcher を設定する必要があります。



システムは自動的に再起動します。

起動すると、BenQ ワイヤレス画面の共有ソリューションのためのインストールメッセージが表示されます。

14. **オプション**：AMS を有効にします。

詳細は、[電子黒板を AMS に紐づける](#)を参照してください。

電子黒板を AMS に紐づける

BenQ Account Management System (AMS) は、BenQ インタラクティブ電子黒板上のユーザーの個人的な設定とクラウドストレージにすばやく安全に読み込み、アクセスできるアカウント管理のプラットフォームです。AMS についての詳細は、AMS の取扱説明書をお読みください。



ヒント

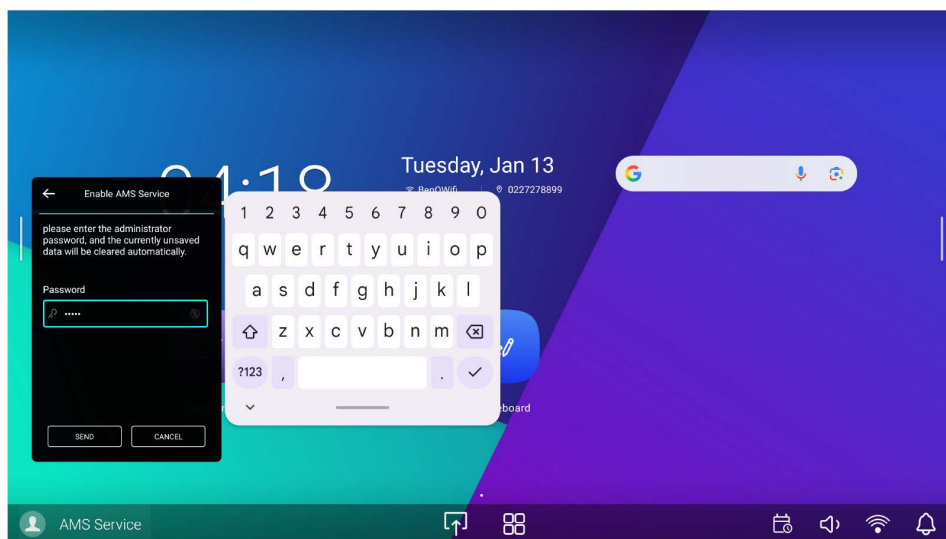
電子黒板を AMS に紐づけると、BenQ アカウントを使ってデバイスにログインできるようになります。BenQ Board、ユーザープロファイル、データにより便利に、より安全にアクセスできるように、この設定を行っていただくようお勧めします。



重要

次のいずれかの手順に従う前に、Wi-Fi または Ethernet を介して、電子黒板がインターネットに接続されていることを確認してください。

1. **AMS Service** をタップします。
2. パスワード欄に「admin」と入力し、**送信**をタップします。

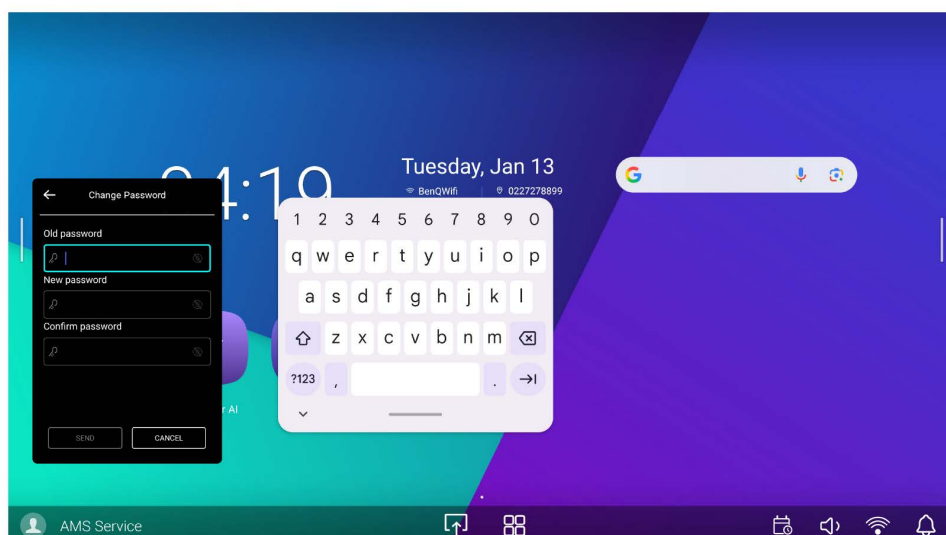


3. 新しいローカル管理者のパスワードを設定し、**送信**をタップします。

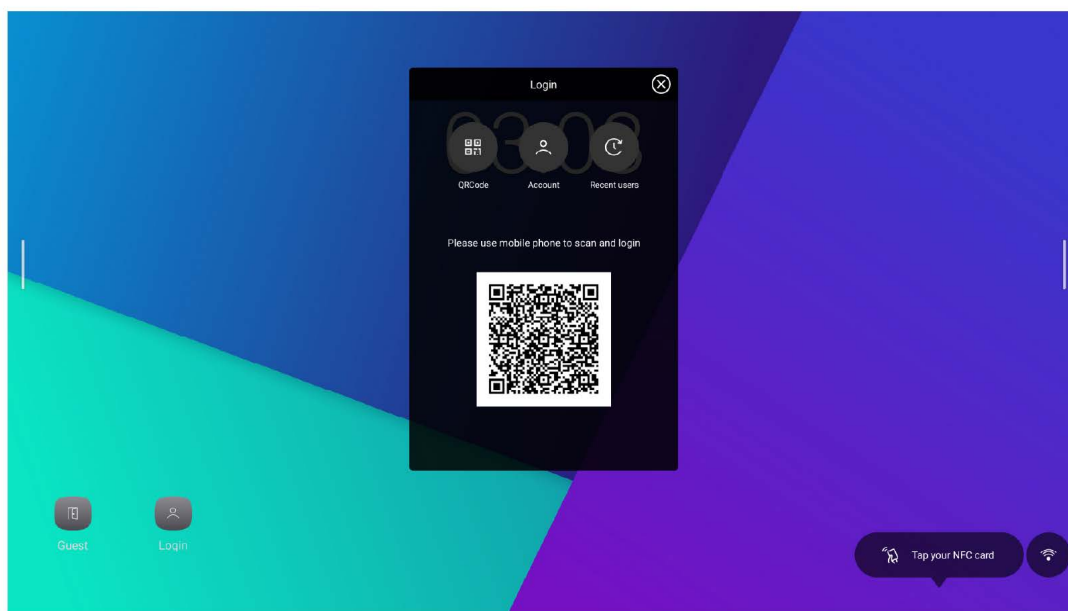


重要

電子黒板への不正なアクセスを防止するために、強いローカル管理者パスワードを設定してください。このパスワードは、BenQ DMS、AMS、および Identity and Access Management (IAM) システムなど、BenQ クラウドサービスにログインするために使用する管理者のパスワードとは別のものです。



4. ボードを AMS に紐づけます。



次のいずれかの方法を選んでください：

方法	操作
QR コード	1.  をタップします。 2. QR コードをスキャンします。 デバイスのウェブブラウザにログインページが読み込まれます。 3. AMS 管理者のパスワードを入力します。 4. ログインをタップします。  注意：管理者は QR コードを使って初めてログインする時にパスワードを入力するだけで、以後は入力する必要はありません。
パスワード	1. アカウントまたは最近のユーザーをタップします。 2. AMS 管理者のパスワードを入力します。 3. ログインをタップします。
NFC カード	NFC リーダーの管理者の NFC カードをタップします。
シングル サインオン (SSO)	シングル サインオン (SSO) の認証情報を使って AMS Service にアクセスします。

基本的な操作

この章では、インタラクティブ電子黒板の基本的な操作方法について説明します。

電源ボタン

LED の状態

LED の動作	電子黒板の状態	説明
 白く点灯	オン	電子黒板が起動しており、作動可能状態にある。
 赤と白に点滅	スリープ	電子黒板は起動しているが、スリープモードになっている。
 赤く点灯	電源オフ	電子黒板の電源はオフだが、コンセントに繋がれていて電源スイッチがオンになっている。
 オフ	電源スイッチオフ	電源スイッチがオフか、電子黒板がコンセントに接続されていません。

稼働時

稼働時	操作	結果
電源オン	電子黒板の電源がオフのときボタンを押します。	電子黒板が起動します。
スリープモードにする	電子黒板の電源がオンでアクティブのときボタンを押します。	電子黒板はスリープモードになります。
ウェークアップ	電子黒板がスリープモードのときボタンを押します。	電子黒板が復帰します。
電源オフ	電源ボタンを 3 秒間長押しします。	カウントダウンタイマーが表示されますので、電子黒板を 10 秒以内に電源オフにします。
強制電源オフ	電源ボタンを 10 秒間長押しします。それでも電源が切れない場合は、ボードの底面にある電源スイッチを使用してください。	電子黒板はシャットダウンします。

 重要：この方法は、電子黒板が応答しない場合にのみお使いください。

ユーザーアクセス

BenQ は、ボード、ユーザープロファイル、データにより便利かつ安全にアクセスできるよう、BenQ Boards を AMS に紐づけることをお勧めします。AMS が有効になっているときには、ログインして BenQ Board の機能と、ローカルおよびクラウドベースのファイルやフォルダにもアクセスすることができます。詳細は、[電子黒板を AMS に紐づける](#)を参照してください。

ログイン

ログイン方法	操作
ゲストとしてログイン	ゲスト をタップします。
AMS のパスワードでログイン	ログイン をタップします。 有効なユーザー名およびパスワードを入力します。

ログイン方法	操作
SSO を使ってログイン	1. ログインをタップします。 2. SSO でサインインをタップします。 3. ディレクトリーサービスを選択します。 4. 有効なユーザー名およびパスワードを入力します。
NFC カードでログイン	登録済ユーザーの NFC カードを NFC リーダーにタッチします。
QR コードでログイン	1. ログインをタップします。 2. QR コードをタップします。 3. QR コードをスキャンします。 4. 有効なユーザー名およびパスワードを入力します。  注意：ユーザーは QR コードを使って初めてログインする時にパスワードを入力するだけで、以後は入力する必要はありません。

ログアウト

1. 画面の左下隅にあるユーザーアカウント アイコンをタップします。
2. **ログアウト**をタップします。



ヒント

管理者は、指定した期間にボードが無作動状態になっている場合は、ボードからログアウトするために AMS で**無作動セッションのログアウト**を有効にできます。この機能により、本来のユーザーがアカウントからログアウトするのを忘れた場合、電子黒板やユーザーデータへの不正アクセスを防止することができます。

ユーザーインターフェイス

ホーム画面

BenQ Board にログインした後は、自分のホーム画面にアクセスできるようになります。壁紙を好みに合わせて変えることで、このスクリーンをカスタマイズできます。



1. サイドバー
2. ページナビゲーション
3. タスクバー
4. ユーザーアカウント
5. アプリドック
6. 接続と設定
7. アプリ、ウィジェット、ブックマーク
8. MeetingRoom
9. 音量調整
10. ネットワーク接続の状態
11. 通知

壁紙の変更

1. 画面の左下隅にあるユーザーアカウント アイコンをタップします。
2. **個人設定** > **壁紙設定** をタップします。
3. 壁紙の画像を選択します。



注意

画像リストは電子黒板に画像ファイルが保存されているか、USB デバイスが接続されている場合にしか表示されません。

4. (オプション) 画像を編集します。
5. **コピーを保存** をタップします。



注意

AMS にログインすると、壁紙が AMS アカウントと同期されます。

タスクバーにアプリのショートカットを追加する

1. 下のタスクバーにあるアプリメニューアイコン  をタップします。
2. **タスクバーのショートカット** をタップします。

3. タスクバーにピン留めしたいアプリを選択します。選択したアプリにチェックマークが付き、タスクバーに表示されます。



ヒント

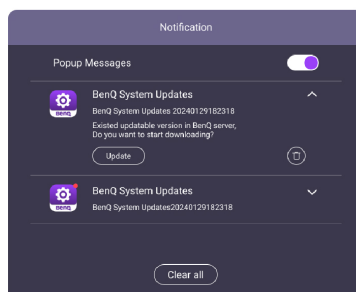
アプリはタスクバーのショートカットメニューからアプリドックに追加できます。アプリドックには最大で7個のアプリを保管できます。

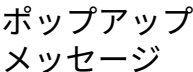
タスクバーからアプリのショートカットを外す

1. 下のタスクバーにあるアプリメニューアイコン  をタップします。
2. **タスクバーのショートカット**をタップします。
3. チェックしたアプリをタップし、それらのチェックマークを外します。選択解除したアプリはタスクバーから削除されます。

通知の管理

BenQ Board はインターネットに接続すると、最新のファームウェアとアプリのアップデートを自動的に受信します。新しいアップデートがリリースされると、通知アイコン  に赤いバッジが表示されます。このアイコンをタップすると、通知画面が開きます。



UI エLEMENT		説明
	ポップアップメッセージ	ポップアップ通知を有効 / 無効にします。
	展開 / 折りたたみ	更新の詳細を表示 / 非表示にします。
	更新	これをタップしてアップデートをダウンロードし、インストールします。  警告 ・ファームウェアを更新するには、システムを再起動する必要があります。更新を行う前に、重要なすべてのデータを保存してください。 ・ファームウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。処理が中断しないようにしてください。電子黒板に致命的なダメージを与える可能性がありますので、デバイスの電源を切ったり、インターネットから切断したりしないでください。
	削除	通知を削除します。
	すべて削除	すべての通知を削除します。



ヒント

リストからアップデートが削除されている場合は、**設定画面**メニューからインストールできます。詳細は、[ファームウェアの更新](#)を参照してください。

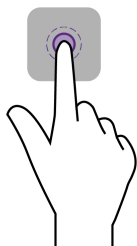
ジェスチャー

次のハンドジェスチャーを使用すると、ホーム画面をナビゲートして編集したり、設定画面メニューにアクセスしたりすることができます。

ハンドジェスチャー

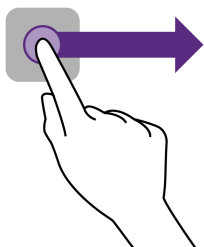
説明

アプリまたはウィジェットをタップします



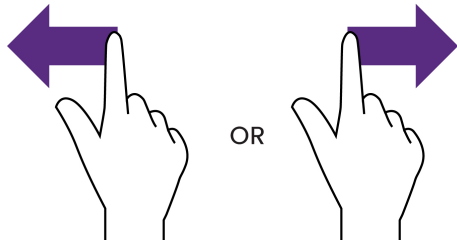
アプリを開いたり、ウィジェットを操作します

ウィンドウをホールド・アンド・ドラッグする



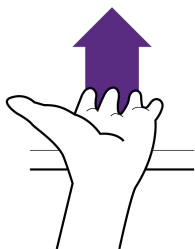
ウィンドウを動かす

左または右にスワイプします



次または前のホーム画面に切り替えます

画面下部から上へスワイプします



設定画面メニューを開きます。
詳細は、[設定画面](#)を参照してください。

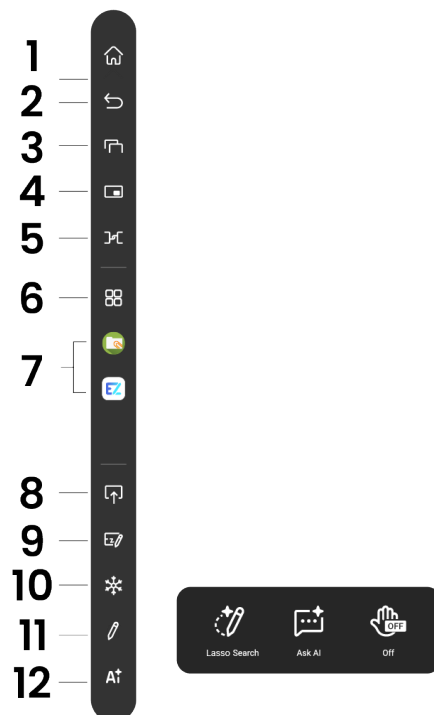
2本指で長押し



フローティングツールを開きます。
詳細は、[フローティングツール](#)を参照してください。

サイドバー

画面の左側か右側にあるバーをタップすると、サイドバーメニューが開きます。



番号	UI エLEMENT	説明
1	ホームボタン	ホーム画面が開きます。
2	戻る	前の画面に戻ります。
3	履歴	最近使用したアプリと入力源にアクセスします。
4	マルチウィンドウ	マルチウィンドウ モードを使用します。詳細は、 マルチウィンドウ モード を参照してください。
5	デュアルスクリーン	拡張（拡張モード）またはミラー化（複製モード）オプションに対応します。
6	クイック起動	アプリの引き出しにアクセスして、すばやくアプリを起動します。
7	最近使用したアプリ	最近使用した 3 個のアプリをリストします。
8	接続	接続メニューを開きます。
9	EZWrite	EZWrite を開きます。
10	静止	スクリーンを静止します。
11	フローティングツール	別の注釈と画面録画ツールにアクセスします。
12	AI 機能	ラッソ検索  、 Ask AI  、 カメラジェスチャー  を含めた、AI 機能にアクセスします。

サイドバーを有効にする

サイドバーはデフォルトで有効になっています。無効になっている場合は、次の手順にしたがってください：

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定**をタップします。
3. **サイドバー**を有効にします。

フローティングツール



フローティングツールには、別のフローティングツールと画面録画ツールがあります。フローティングツールを開くには、3つの方法があります：

1. サイドバー：サイドバーメニューから **Floating Tool**  をタップします。
2. ジェスチャー：2本指でスクリーンを3秒間押し続けます。
3. 常にオン：スクリーン上の  をタップすると、フローティングツールが拡張します。

フローティングツールジェスチャーを有効にする

1. **設定画面**ボタン  を押します。BenQ Board 設定メニューが開きます。
2. **詳細設定**をタップします。
3. **フローティングツールジェスチャー**を有効にします。

フローティングツールを常にオンを有効にする

1. **EZWrite 6** を開きます。
2. メニューバーで  >  をタップします。すると、EZWrite 設定メニューが開きます。
3. **注釈ツールを表示したままにする** を有効にします。

ボタン		説明
 / 	最小化 / 最大化	フローティングツールを最小化または最大化します。
	閉じる	フローティングツールを閉じます。
	ペン	画面に表示されているコンテンツに文字を書いたり、描画したりできるペンツールを有効にします。
	蛍光ペン	画面に表示されているコンテンツにハイライトでマークできる蛍光ペンツールを有効にします。
	レーザーポインタ	レーザーポインタを有効にします。
	消しゴム	注釈を消します。指または二重線消しゴムを使用するか、画面の注釈をすべて消します。
	ツールボックス	ツールボックスを開いて計算機、タイマー、ストップウォッチ、スコアボード、ランダム抽選、スポットライト、単位換算、スピナーなどにアクセスできます。
	AI 機能	ラッソ検索  、 Ask AI  、 カメラジェスチャー  を含めた、AI 機能にアクセスします。
	スクリーンショット	通常のスクリーンショットを撮影したり、オーディオ付きで画面を録画したり、スクリーンを静止させたりすることができます。
	タッチ	すべての注釈を隠し、画面を操作します。

AI 機能

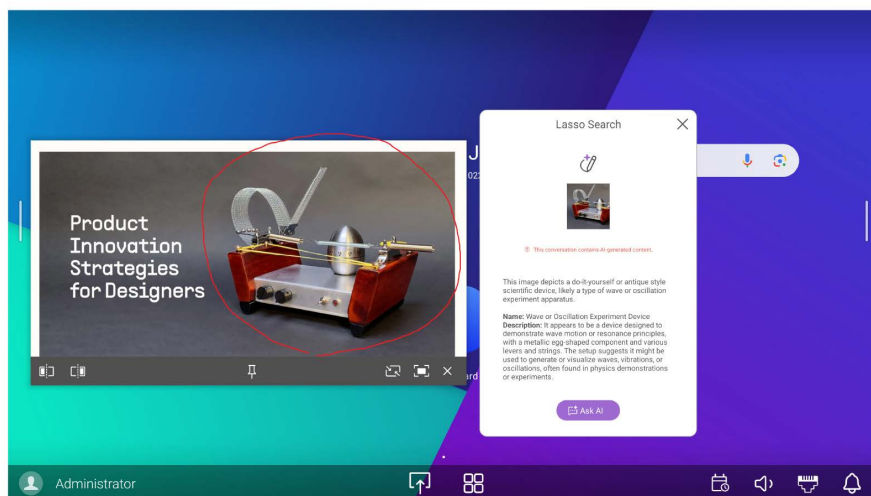
サイドバーまたはフローティングツールで、**ラッソ検索** 、**Ask AI** 、**カメラジェスチャー**  を含む AI 機能 **A+** / **AI+** にアクセスします。

ラッソ検索

ラッソ検索は、一時停止したビデオフレームか、静止画かなど、キャプチャした画像のインスタント概要や説明を表示します。

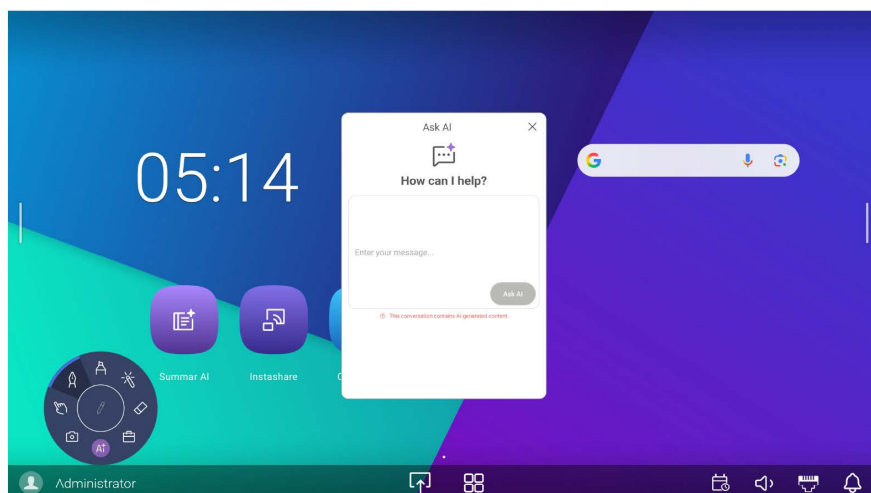
インスタント分析機能を使う：

1.  アイコンをタップすると、**ラッソ検索**が有効になります。画面に「**検索エリアを円で囲んでください**」というプロンプトが表示されます。
2. 画像の中の特定のエリアを円で囲みます。すると、概要または説明が表示されます。
3. 画像についての会話を続行するには、 **Ask AI** をタップして **Ask AI** で会話を続けます。



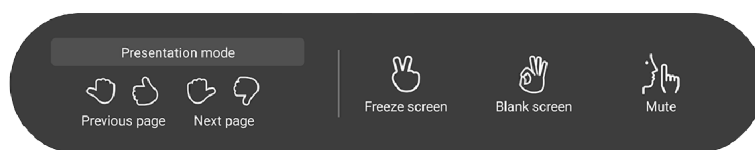
Ask AI

 をタップして会話を開始すると、タイムリーな情報や補助など、質問に対する応答が表示されます。



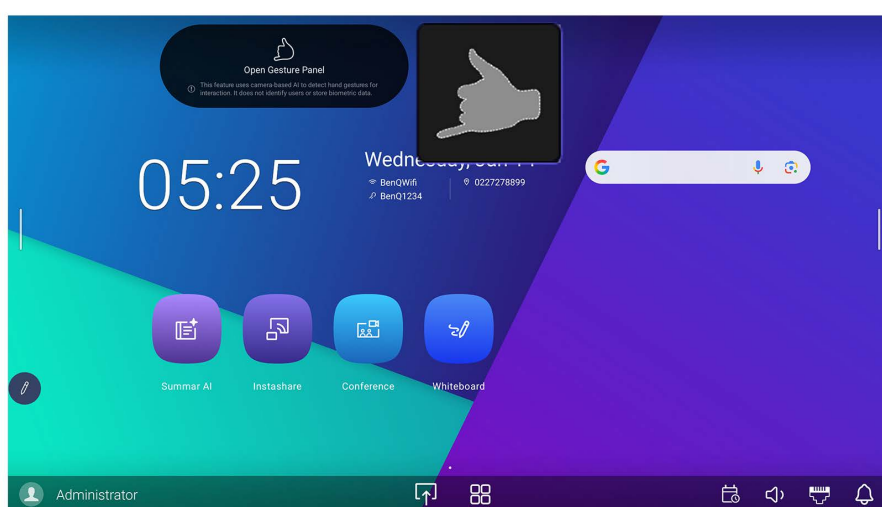
カメラジェスチャー

カメラジェスチャー  を使用すると、プレゼンテーションのスライドをナビゲートしたり、画面を静止したり、消画を表示したり、音声を無音にしたり、ハンドジェスチャーでスクリーンを簡単に操作することができます。

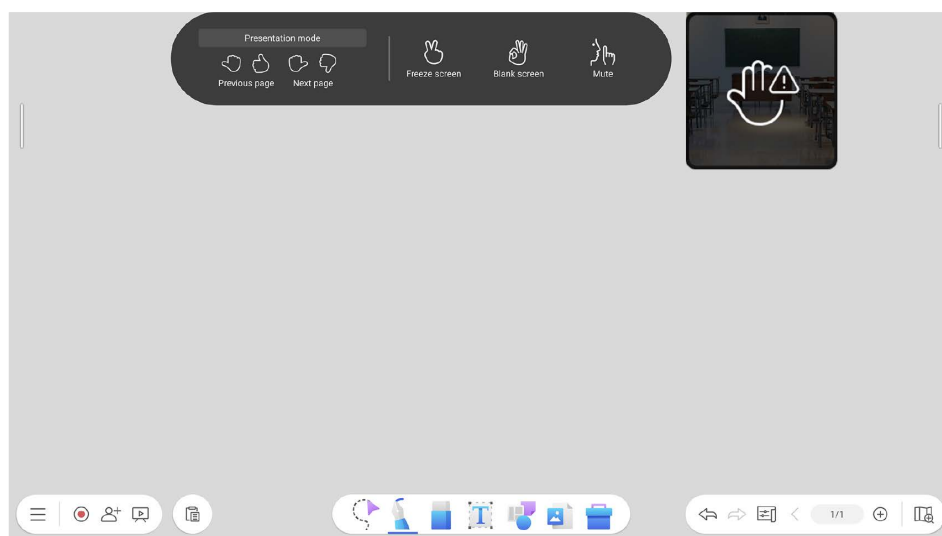


機能を有効にするには、ジェスチャーパネルを開きます：

1. **カメラジェスチャーアイコン**  をタップします。
2. 左上隅に**ジェスチャーパネルを開く**というプロンプトが開きます。



3. プロンプトに表示されるとおりに手のポーズをまねてください。
4. 機能进行操作するために使用できる様々な手のポーズが表示される、**ジェスチャーパネル**が開きます。

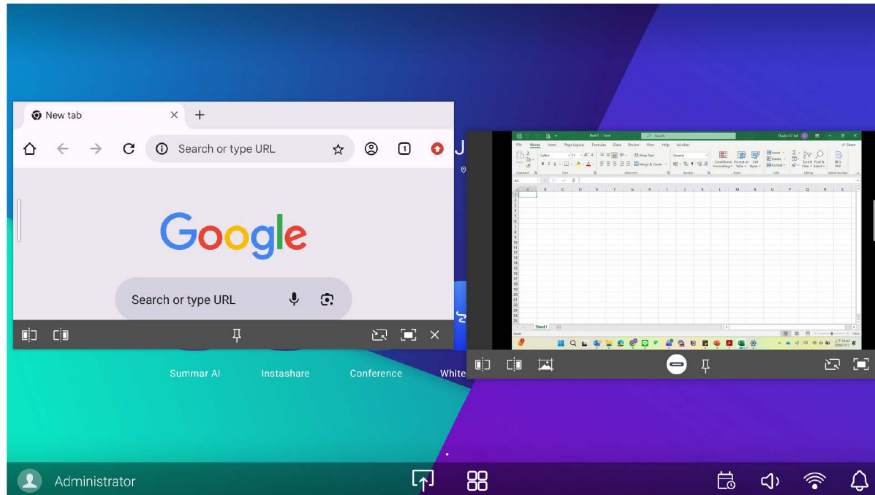


注意

ジェスチャーが検出されない場合は、 アイコンが表示されます。カメラに近づいて動かしてみてください。または、手がしっかりと見えるようにしてみてください。

マルチウィンドウ モード

最大 6 つのアプリを別々のウィンドウで開き、同じ画面上で同時に操作できます。



アプリまたは入力源を開く

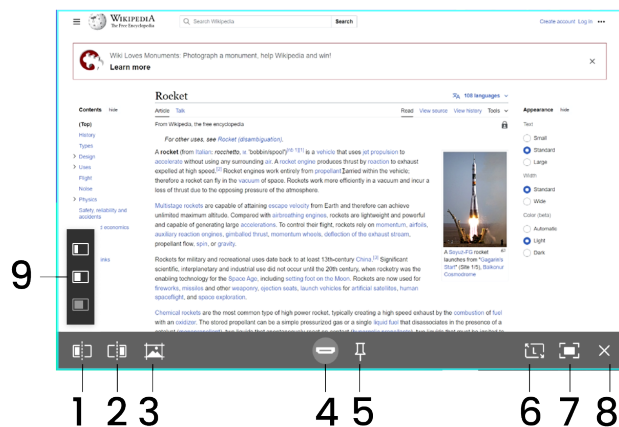
1. アプリを起動するか、画面で別の入力源に切り替えます。
2. サイドバーをタップします。
3. マルチウィンドウ モードをタップします。
4. 画面分割オプションを選択します。



注意：アプリまたは入力源がマルチウィンドウ モードで開いたら、ユーザーが起動した別のアプリが自動的に別の画面に開きます。

オプションバー

マルチウィンドウ オプションバーでは、ワークフローに合わせてスクリーン上で画面を配置できます。オプションバーをタップしてドラッグすると、画面上を移動できます。

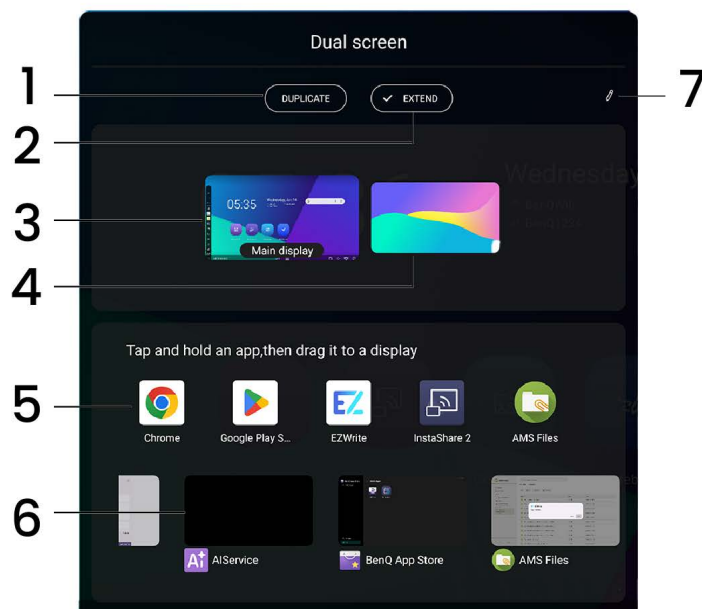


1. 左にスナップ
2. 右にスナップ
3. スナップショットを撮影
4. 入力源の切り換え
5. 他の画面の上に固定
6. 画面をリサイズ
7. 全画面
8. 画面を閉じる
9. 画面分割オプションを選択します：1/2、1/3、2/3。

 **注意：**スナップショットの撮影や、入力源の切り替えは、入力源画面でしか使用できません。

デュアルスクリーン モード

デュアルスクリーン機能を使ってセカンダリ電子黒板に接続すると、マルチタスク機能を向上させることができます。



1. **重複：**両方の画面でコンテンツをミラー化します。
2. **伸ばす：**ワークスペースを両方の画面に拡張します。アプリをタップ・アンド・ホールドして、次にセカンダリ電子黒板にドラッグします。
3. メイン電子黒板
4. セカンダリ電子黒板
5. 使用可能なアプリ
6. 最近のアプリ
7. アレンジツール

 **注意：**
使用可能なアプリは、AMS にログインした後に表示されます。詳細は、[電子黒板を AMS に紐づける](#)を参照してください。

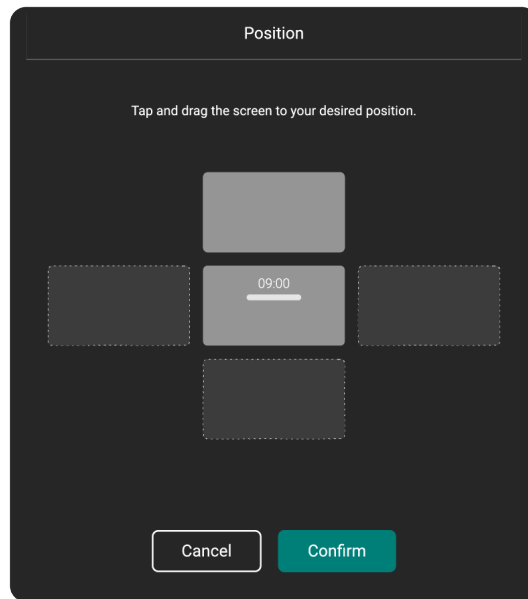
電子黒板の複製または拡張

1. メイン電子黒板の **Type-C 出力**ポートからケーブルを使用すると、セカンダリ電子黒板を接続します。
2. サイドバーで  をタップすると、**デュアルスクリーン**機能が起動します。
3. **重複**または**伸ばす**を選択して、コンテンツを表示する方法を選択します。
4. （拡張モードのみ）アプリを長押しして、セカンダリ電子黒板にドラッグします。

拡張した画面の位置を調整する

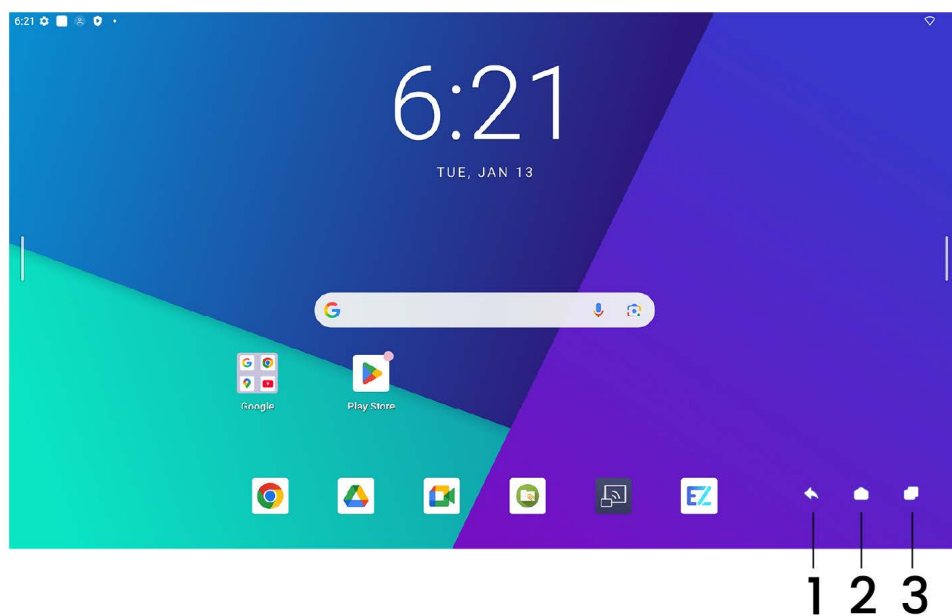
インターフェイス上で拡張した電子黒板を表示する位置を変更するには（例：メインスクリーンの上または横）：

1.  をタップして、アレンジツールを開きます。
2. スクリーンのサムネイルをメイン電子黒板に対して、任意の位置にタップしてドラッグします。
3. **確認する**をタップします。



Google インターフェイス

BenQ Launcher の設定時に BenQ services を有効できない場合は、デフォルトの Google ユーザーインターフェイスが開きます。この場合は、BenQ デバイスとユーザー管理プラットフォーム、サイドバーとカスタム BenQ Board 設定にアクセスできません。



1. 戻る
2. ホームボタン
3. 最近のアプリ

BenQ services を有効にするには、電子黒板を初期値に戻し、BenQ Launcher を設定する必要があります。詳細は、次のトピックを参照してください。

- [初期値に戻す](#)
- [BenQ Launcher の設定](#)

接続

BenQ Board には、データやメディアを入力または出力できるいくつかのポートがあります。

使用	説明	ポート
タッチ	これらの接続を活用すると、BenQ Board タッチスクリーンからノートパソコンを操作することができます。詳細は、 タッチ を参照してください。	• USB-C • HDMI と USB-C 出力
入力	これらの接続を活用すると、BenQ Board でユーザーのデバイス画面を表示して、オーディオやビデオコンテンツを再生することができます。詳細は、 入力 を参照してください。	• HDMI • USB-C
出力	これらの接続を活用すると、BenQ Board の画面を別のデバイスに拡張できます。詳細は、 出力 を参照してください。	• USB-C 出力 • 3.5 mm オーディオ出力端子
デバイス管理	この接続を活用すると、管理者は自分のノートパソコンやローカル管理コンソールで BenQ Board 設定を構成することができます。詳細は、 デバイス管理 を参照してください。	• RS-232

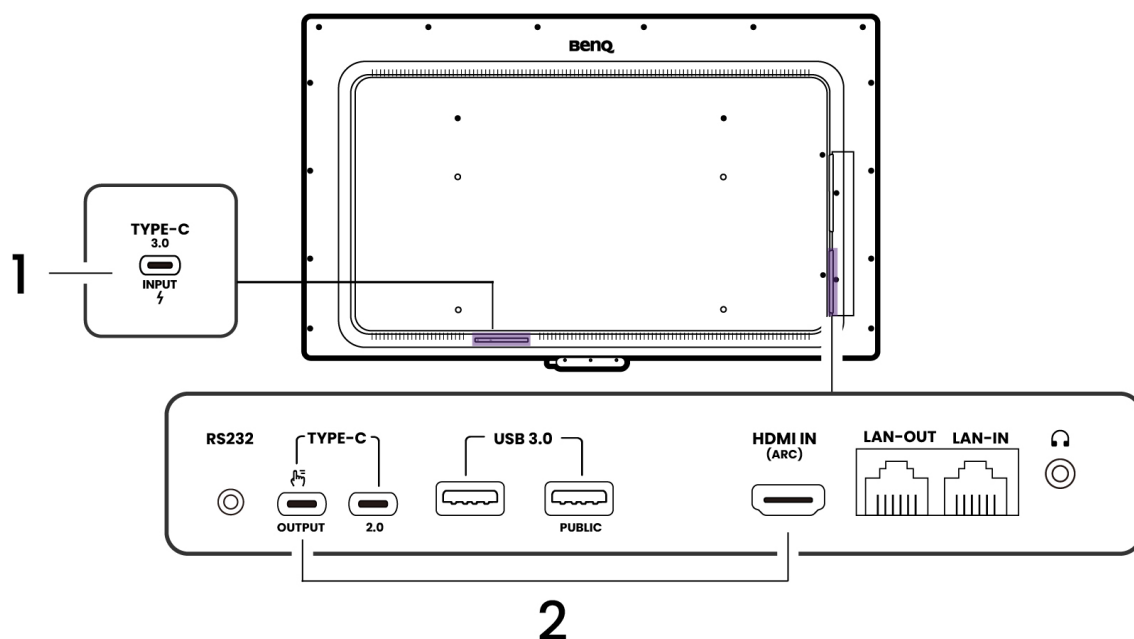


重要

BenQ は、最適な性能を実現するには、デバイスと電子黒板を直接接続することを強くお勧めします。BenQ Board は、最大 4 階層までの USB 接続をサポートしています。追加の USB ハブ、拡張装置、フェイスペインプレート機器を使用すると、接続経路が増え、ケーブル品質の劣化、無線周波数による干渉、電氣的干渉など他の外部要因が発生します。その結果、タッチスクリーン機能に影響を与えたり、その他の問題が発生したりする可能性があります。

タッチ

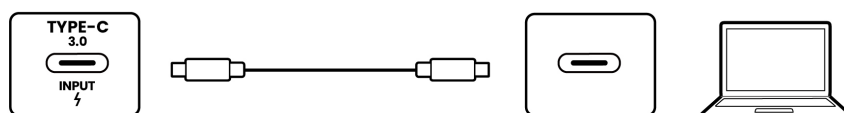
電子黒板のタッチモジュールは、プラグアンドプレイ対応です。ユーザーの方が追加ドライバーをインストールする必要はありません。タッチ接続を有効にするには、タッチ接続を有効にする方法は、USB-C ポートの利用か、HDMI ケーブルとタイプ C 出力ポートの両方を利用するかの 2 通りの方法があります。



番号	接続	構成
----	----	----

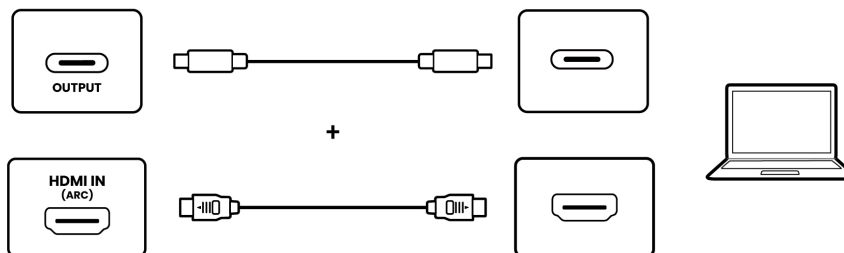
入力機器を底面パネルの USB 3.0 Type-C 入力ポートに接続します。

- 1 USB 3.0
Type-C 入力
ポート



USB 2.0 Type-C 出力ポートは、サイドパネルの HDMI ポートと一緒に使用する必要があります。

- 2 USB 2.0
Type-C 出力
ポート



重要

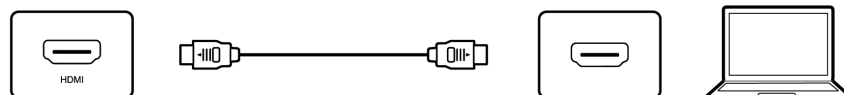
- ・滑らかで正確なタッチ操作のため、タッチパネルフレームの内側をふさがないようにご注意ください。
- ・Touch USB 接続で画質が劣化する場合は、別の USB-C から Type-A 変換ケーブルをお使いください。

入力

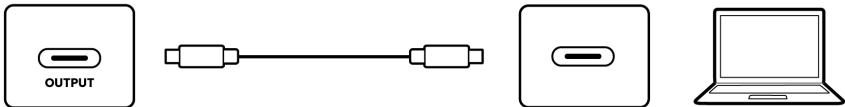
番号	接続	構成
----	----	----

入力機器を左側のパネルの **HDMI** ポートに接続します。

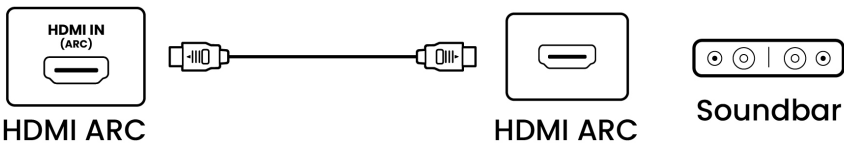
- 1 HDMI



出力

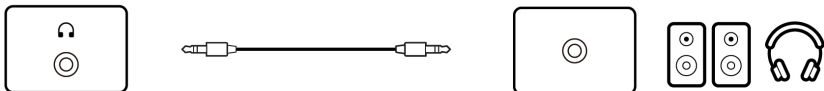
接続	構成
	ビデオ、オーディオ、タッチ機能出力機器を左側のパネルの USB 2.0 Type-C 出力ポートに接続します。
2 USB 2.0 Type-C 出力	

電子黒板をコントローラやサウンドバーに接続されているときには、左側のパネルの HDMI ポートを使って HDMI ARC オーディオを出力することができます。

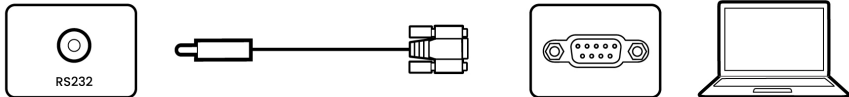
2 HDMI	
--------	--

❗ 重要：HDMI ポートを介してオーディオを出力するには、**HDMI (HDMI ARC)** がデフォルトのオーディオ出力ポートとして選択されていることを確認してください。詳細は、[画面設定](#)を参照してください。

オーディオ出力機器を底面パネルの 3.5 mm オーディオ出力端子に接続します。

3 3.5 mm オーディオ出力端子	
--------------------	--

デバイス管理

接続	構成
	左パネルの RS-232 ポートを使って管理コンソールを接続します。
1 RS232	

USB ポート

USB コネクタ

デバイスを電子黒板の USB ポートに接続する場合、次のことを確認してください：

- ・ ケーブルの長さは USB 2.0 スロットに対しては 5 m (16.4 ft) 以下、USB 3.0 スロットに対しては 3 m (9.8 ft) 以下を推奨しています。
- ・ BenQ Board CP05/CM05 では USB 接続の数に上限があります。すべての USB ポートが使用されている状態で USB ハブを接続した場合、新しい USB 入力デバイスは認識されません。

充電

電子黒板の底面パネルにある USB-C ポートは、65W の給電に対応しています。

NFC センサー

正面パネルの NFC センサーは、BenQ アクセサリおよびモバイル機器からの NFC タグを検出します。

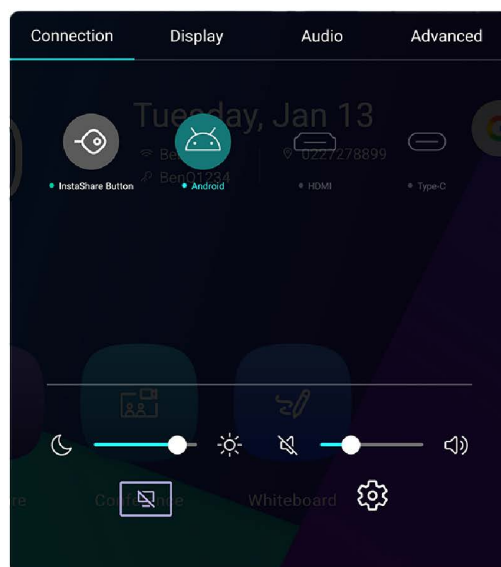
アクセサリ / デバイス	NFC の動作
NFC カード	ユーザーアカウントにログインして、設定を読み込みます。
モバイル機器	InstaShare 2 を使ってデバイスの画面を共有します。

設定画面

設定画面メニューでは、BenQ Board の設定を構成することができます。このメニューを開くには、3 つの方法があります：

- ジェスチャー：画面下部から上へスワイプしてください。詳細は、[ジェスチャー](#)を参照してください。

接続設定



メニュー項目	説明
入力ソース	別の入力源に切り替えます。 詳細は、 入力源の切り換え を参照してください。
輝度	スライダーを使って電子黒板の輝度を調整します。
音量	スライダーを使って電子黒板の音量を調整します。
画面オフ	サウンドとすべてのアプリケーションを作動させながら、スクリーンを画面オフします。 詳細は、次のトピックを参照してください。 画面オフに切り換え
Android 設定	Android 設定メニューを開きます。 詳細は、 Android 設定 を参照してください。

入力源の切り換え

1. 入力源を電子黒板に接続します。
詳細は、[接続](#)を参照してください。
2. **設定画面**メニューを開きます。
3. 入力源を選択します。



ヒント

ホーム画面に素早く移動するには、ペンホルダーの  ボタンを押します（OSD 電子黒板設定で設定する必要があります）。

画面オフに切り換え

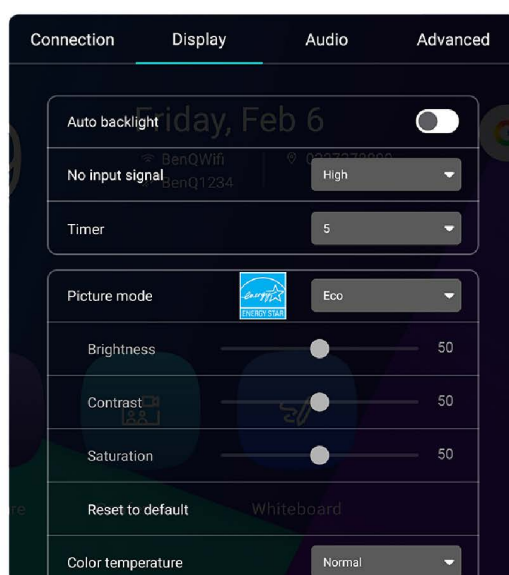
方法	説明
設定画面メニュー	1. 設定画面メニューを開きます。 2.  をタップします。



ヒント

スクリーンをタップすると、画面オフを終了します。

画面設定



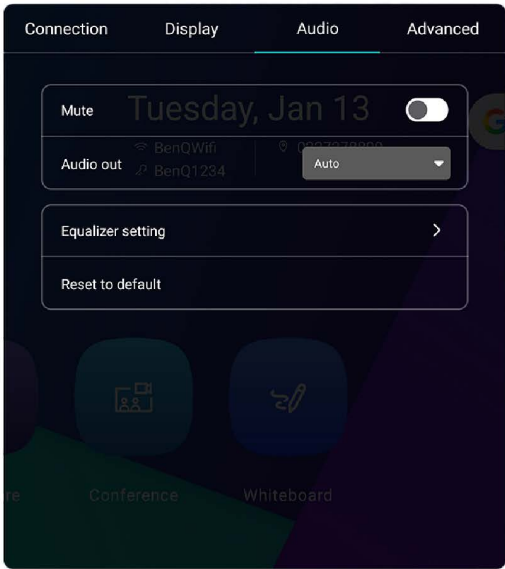
メニュー項目	説明
明るさ自動調整	この設定を有効にすると、部屋の明るさに応じて電子黒板が自動的にバックライトを調整します。
入力信号なし	このモードは、接続した入力源が休止しているか、コードが外れている場合に電子黒板の電力を節約します。 ・ オフ：スクリーンを常にオンにしておきます。 ・ 低：5 分後にスリープモードに入ります。 ・ 高：5 分後に電子黒板の電源を切ります。
タイマー	プリセットの省エネモードのタイマーを選択します。 入力信号なし がオフのときには使用できません。
画面モード	次のプリセットの画面モードから選択するか、輝度、コントラスト、色相、シャープネス、彩度のスライダーを使ってカスタムモードを設定します。 ・ ECO ・ Pantone ・ M-book ・ 高精細 ・ ePaper ・ DICOM ・ カスタム 1 ・ カスタム 2
色温度	次のプリセットモードから選択してください： ・ 標準 ・ 寒色 ・ 暖色
アイケア	オンまたはオフを選択します。オンのとき、色温度が自動的に指定されます。
カスタム入力ソース名	それぞれの入力源に名前を付けます。詳細は、 入力源に名前を付ける を参照してください。

メニュー項目	説明
詳細設定	アスペクト比 次のオプションから選択します： • 16:9 • Pixel-to-pixel (PTP)
	EDID 電子黒板と入力源の最大解像度がミスマッチを起こしているとき、HDMI の消失を最小限にとどめるためには、EDID 設定を選択します。 • EDID 1.4：4K (3840 x 2160) @ 30Hz を使用 • EDID 2.0：4K (3840 x 2160) @ 60Hz を使用 • EDID 2.0 (YUV420)：4K (3840 x 2160) @ 60Hz を使用
	HDMI CEC この設定が有効になっていると、1 つのリモコンで電子黒板とすべての HDMI に接続した機器を操作することができます。
	HDMI ARC この設定が有効になっていると、オーディオをサウンドバーまたは AV レシーバーに送り返します。
	ピクセルシフト この設定が有効になっていると、電子黒板がスクリーン上でピクセルをダイナミックにシフトして、静止画を表示しているときの焼け付きを防止します。
	Dynamic contrast ratio (DCR) この設定が有効になっていると、スクリーン上に表示されている最も明るいアイテムと最も暗いアイテムをもとに、バックライトをダイナミックに調整します。
	ソースの自動切り替え この設定が有効になっていると、新しい入力源が電子黒板に接続されると、それを検出し、切り替えます。また、入力源の接続が解除されると、デフォルトの Android のスクリーンに自動的に戻ります。
	Type-C 出力解像度 電子黒板に対して、任意の出力解像度を選択します： • 720x480 • 1920x1080 • 3840x2160x60Hz • 自動
	Type-C 出力 出力ポートを有効または無効にします。
	Type-C 出力サウンド この設定が有効になっていると、Type-C で BenQ Board に接続されているその他の電子黒板も、接続した入力源から音声と映像を受信します。
詳細設定	デュアルスクリーン 2 台のスクリーンに同時にコンテンツを表示しているとき、デュアルスクリーンを有効にします。
	電源ボタン 簡単にアクセスできるように、電源ボタンの短押しに特定の機能を割り当てます。 • スリープモード • ホームボタン • スクリーンショット

入力源に名前を付ける

1. **カスタム入力ソース名**をタップします。
2. 入力源をタップします。
3. 新しい名前を入力します。
 - 最大長さ：20 文字
 - 対応する文字：この欄は、すべての文字に対応します。特殊文字は 2 文字としてカウントされます。
4. **保存**をタップします。

音声設定



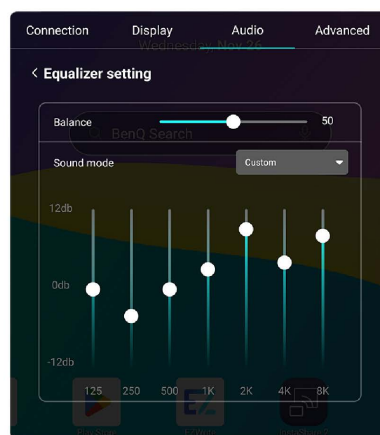
メニュー項目	説明
ミュート	電子黒板からのすべての音声をミュートします。  注意：電子黒板の音声がミュートになっていると、バランスとサウンドモードはご使用いただけません。
オーディオ出力	次のオーディオ出力オプションから選択します： ・ 自動 ・ スピーカー ・ Arc ・ Arc + スピーカー

イコライザ設定

オーディオの周波数の調整ができます。

- ・ **バランス**：スライダーを使ってオーディオ出力のバランスを調整します。
- ・ **サウンドモード**：次のプリセットのサウンドモードから選択してください。
 - 標準
 - シネマ
 - ニュース
 - スポーツ
 - カスタム

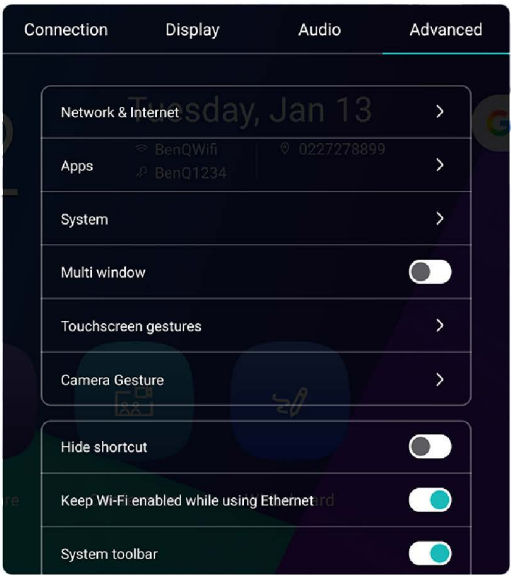
 注意：カスタムサウンドモードでは、周波数スライダーを使って自分のイコライザ設定を作成し、保存することができます。



初期値にリセット

電子黒板の音声をデフォルト設定に戻します。

詳細設定



メニュー項目	説明														
ネットワークとインターネット	Ethernet または Wi-Fi を使って電子黒板をインターネットに接続します。詳細は、次のトピックを参照してください。 ・ インターネットに接続する ・ プロキシ設定の構成 ・ Wi-Fi 認証のインストール														
アプリ	電子黒板にインストールされているすべてのアプリにアクセスできます。詳細は、 BenQ アプリ を参照してください。														
システム	電子黒板言語と時間などのシステム設定を編集したり、電子黒板をデフォルト設定に戻したりします。詳細は、次のトピックを参照してください。 ・ 言語設定の構成 ・ 電子黒板の時間を設定する ・ 初期値に戻す														
マルチウィンドウ	マルチタスクを効率的に行えるように、マルチウィンドウ機能を有効または無効にします。														
タッチスクリーンジェスチャー	5 本指スワイプ ジェスチャーをカスタマイズします。 <table><tr><td>縮小スライド</td><td>・ 操作なし</td></tr><tr><td>拡張スライド</td><td>・ スクリーンをオフ</td></tr><tr><td>右スライド</td><td>・ ホームボタン</td></tr><tr><td>左スライド</td><td>・ 最近</td></tr><tr><td></td><td>・ スクリーンショット</td></tr><tr><td></td><td>・ EZW6</td></tr><tr><td></td><td>・ 入力ソース</td></tr></table>	縮小スライド	・ 操作なし	拡張スライド	・ スクリーンをオフ	右スライド	・ ホームボタン	左スライド	・ 最近		・ スクリーンショット		・ EZW6		・ 入力ソース
縮小スライド	・ 操作なし														
拡張スライド	・ スクリーンをオフ														
右スライド	・ ホームボタン														
左スライド	・ 最近														
	・ スクリーンショット														
	・ EZW6														
	・ 入力ソース														

メニュー項目	説明
カメラジェスチャー	統合されているカメラが検出した手のジェスチャーを使って、BenQ Board を操作することができます。 ・ カメラジェスチャー：カメラジェスチャー機能を有効または無効にします。 ・ カメラジェスチャーのヒント：このトグルを有効にすると、カメラジェスチャーを正しく行うための便利なガイドやヒントを表示されます。
有線 LAN 使用時に Wi-Fi オンを保持	この設定はデフォルトにより有効に設定されており、Ethernet と Wi-Fi 接続を同時に有効にすることが可能です。 この設定を無効にすると、1つの方法でのみインターネットに接続され、もう片方は自動的に無効になります。
サイドバー	この設定を有効にすると、サイドバーにアクセスできます。詳細は、サイドバーを参照してください。
Bottom USB-C 充電のみ	この設定を有効にすると、電子黒板は底部の USB-C ポートで 65W 充電を行います。詳細は、USB ポートを参照してください。
フローティングツールジェスチャー	この設定を有効にすると、フローティングツールジェスチャーを使ってフローティングツールにアクセスできます。詳細は、次のトピックを参照してください。 ・ フローティングツール ・ ジェスチャー
電源オフ & スリープ	指定した時間が経過しても無作動の状態が続くと、電子黒板は電源を切るか、スリープモードに入ります。詳細は、電源オフとスリープ設定を参照してください。
起動時のロゴとムービー	起動時に表示される画像とアニメーションをカスタマイズします。詳細は、ブートロゴとアニメーションの設定を参照してください。
アクセス ロック	このスクリーンにリストされる設定をどれでも有効にすると、相当するハードウェアコンポーネントの入力機能がロックされます。詳細は、アクセスロックの構成を参照してください。
InstaShare Button モード	この設定を有効にすると、InstaShare 2 アプリがなくても BenQ Board で InstaShare Button を使用することができます。モードは 接続設定メニューに入力源の 1 つとして表示されます。詳細は、次のトピックを参照してください。 ・ InstaShare Button モードを有効にする ・ 入力源の切り換え
起動時に InstaShare Button モードを起動	この設定を有効にすると、BenQ Board は起動後 3 分で InstaShare Button モードに自動的に切り替わります。
表示の向き (55 インチモデルのみ)	見やすいように、表示の向きを選択してください。オプション： ・ 自動 ・ 縦向き ・ 横向き
アクティブペンガイド	アクティブペンの使い方を見ることができます。メモや描画をしながら、より直感的に操作したい場合は、ペンを持ち上げて注釈ツールを起動しますを有効または無効にすることもできます。
アプリ画面を横画面に固定	この設定を有効にすると、すべてのアプリが横向きに表示されます。

メニュー項目	説明
アクセサリ	電子黒板のデフォルトのマイクとカメラ設定を構成します。詳細は、次のトピックを参照してください。 - デフォルトのカメラの設定 - デフォルトのマイクロフォンの設定 - マイクロフォンの共有
起動設定	スタートアップとシャットダウンの動作と、電子黒板のコントロールを構成します。詳細は、 設定画面 を参照してください。
電源スケジュール	1 週間のうちで特定の時間に自動的に電子黒板を起動し、電源を切るように定期スケジュールを設定します。詳細は、 電源スケジュールの設定 を参照してください。
ログ出力	モニタリングやトラブルシューティングのためにシステムログをエクスポートします。詳細は、 システムログのエクスポート を参照してください。
システムアップデート	BenQ Board のファームウェアを手動で更新します。詳細は、 ファームウェアの更新 を参照してください。
USB クローン	電子黒板設定を同じモデルの他の電子黒板にクローンできるように、USB ドライブにエクスポートします。詳細は、次のトピックを参照してください。 - 電子黒板設定をエクスポート - 電子黒板設定をインポート
Google Play アプリファイアウォール	この設定を有効にすると、Google Play Store で他のアプリにもアクセスできるようになります。
バージョン情報	デバイス名、モデル、シリアル番号、ファームウェアバージョンを含め、デバイスの詳細を確認できます。

インターネットに接続する

メニュー項目	説明
Ethernet	- Ethernet ケーブルが電子黒板に接続されていることを確認してください。 詳細は、接続を参照してください。 設定画面メニューを開きます。 詳細設定 > ネットワークとインターネットをタップします。 ネットワークとインターネットメニューが開きます。 Ethernet をタップします。 - Ethernet 接続を有効にします。
Wi-Fi	- 設定画面メニューを開きます。 詳細設定 > ネットワークとインターネットをタップします。 ネットワークとインターネットメニューが開きます。 インターネットをタップします。 Wi-Fi を有効にします。 使用可能なネットワークの一覧が表示されます。 - ネットワークを選択します。 - Wi-Fi のパスワードを入力します。

プロキシ設定の構成

1. 電子黒板が LAN に接続されていることを確認してください。
詳細は、[インターネットに接続する](#)を参照してください。
2. **設定画面**メニューを開きます。
3. **詳細設定** > **ネットワークとインターネット**をタップします。
ネットワークとインターネットメニューが開きます。
4. **Ethernet**をタップします。
5. 次の設定のいずれかを行います：
 - ・ DHCP または Static IP
 - **IP アドレス**：固定の IP アドレスを入力します。
 - **デフォルトのゲートウェイ**：デフォルトのゲートウェイの IP アドレスを入力します。
 - **Netmask**：IP アドレスを細分化するためのネットマスクを入力します。
 - **DNS 1**：プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
 - **DNS 2**：セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
 - ・ プロキシ設定
 - **プロキシ**：なし、手動、プロキシ自動コンフィギュレーションのいずれかを選択します。
 - **プロキシのホスト名**：プロキシのホスト名を入力します。
 - **プロキシポート**：使用するポートを指定します。
 - **プロキシを回避**：アドレスを指定します。

Wi-Fi 認証のインストール

1. 電子黒板が LAN に接続されていることを確認してください。
詳細は、[インターネットに接続する](#)を参照してください。
2. **設定画面**メニューを開きます。
3. **詳細設定** > **ネットワークとインターネット**をタップします。
ネットワークとインターネットメニューが開きます。
4. **インターネット**をタップします。
5. スクリーンの一番下までスクロールして、**ネットワークの環境設定**をタップします。
6. **認証をインストール**をタップします。
Android のファイルブラウザが開きます。
7.  をタップして、Wi-Fi 認証ファイルを探します。
8. ファイルをタップして、認証の名前を入力します。
9. **OK**をタップします。

言語設定の構成

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **システム**をタップします。
システムメニューが開きます。
3. **言語と入力**をタップします。
4. 次の操作をします：

操作	手順
電子黒板言語の変更	1. 言語をタップします。 2. リストから言語を選択します。  ヒント：言語を追加をタップして、リストに言語を追加します。
それぞれのアプリの言語を設定する	1. アプリの言語をタップします。 2. リストからアプリを選択します。 3. リストから言語を選択します。

電子黒板の時間を設定する

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **システム**をタップします。
システムメニューが開きます。
3. **日時**をタップします。
4. 次の操作をします：

操作		手順
時間の設定	自動	自動的に時間を設定 を有効にします。
	手動	1. 自動的に時間を設定を無効にします。 2. 日付をタップします。 3. 日付を指定し、OKをタップします。 4. 時間をタップします。 5. 時間を指定し、OKをタップします。
タイムゾーンの設定	自動	1. 自動的にタイムゾーンを設定を有効にします。 2. (オプション) 位置を使ってタイムゾーンを設定を有効にします。
	手動	1. 自動的にタイムゾーンを設定を無効にします。 2. タイムゾーンをタップします。 3. 地域とタイムゾーンを選択します。
時間フォーマットの設定	自動	ローカルデフォルトを使う を有効にします。
	手動	1. ローカルデフォルトを使うを無効にします。 2. 24 時間フォーマットを使うを有効または無効にします。

初期値に戻す



警告

初期値に戻すと、電子黒板からすべてのデータが消去され、本来のデバイス設定に復元されます。次の手順に従う前に、重要なファイル、設定、データのバックアップを作成してください。

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **システム**をタップします。
システムメニューが開きます。
3. **オプションをリセット**をタップします。
4. **すべてのデータを消去 (初期値に戻す)**をタップします。
5. **すべてのデータを消去**をタップします。

アクセスロックの構成

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **アクセス ロック**をタップします。
3. 次のロックを有効または無効にします：

メニュー項目	説明
前面ボタン ロック	電子黒板のコントロールパネルのボタンを使用できないようにします。
リモコンロック	電子黒板のリモコンを使用できないようにします。
タッチスクリーンロック	電子黒板のタッチスクリーンを使用できないようにします。



ヒント

タッチスクリーンがロックされている場合は、スクリーンを 5 本の指で 6 秒間タッチ・アンド・ホールドすると解除されます。

InstaShare Button モードを有効にする

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定**をタップします。
3. **InstaShare Button モード**を有効にします。
4. **再起動する**をタップします。
電子黒板が再起動して、**接続設定**メニューに InstaShare Button を入力源として追加します。

デフォルトのマイクロフォンの設定

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **アクセサリ**をタップします。
3. **マイク**で次のオプションから 1 つ選択します。

メニュー項目	説明
自動	内蔵マイクロフォンアレイがデフォルトで使用されています。新しい外付けマイクロフォンが電子黒板に接続されている場合は、デフォルトのマイクロフォンとして自動的に設定されます。
無効	マイクロフォン機能は無効です。
内蔵マイクロフォンアレイ	他の外付けマイクロフォンが電子黒板に接続されている場合でも、内蔵のマイクロフォンアレイが使用されます。
その他	電子黒板に接続されているすべての外付けマイクロフォンがドロップダウン リストに表示されます。デフォルトとして使用するマイクロフォンを選択します。

デフォルトのカメラの設定

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **アクセサリ**をタップします。
3. **ウェブカメラ**で次のオプションから 1 つ選択します。

メニュー項目	説明
無効	カメラ機能は無効です。
その他	ボードに接続されているすべての外付けカメラがドロップダウン リストに表示されます。デフォルトとして使用するカメラを選択します。

マイクロフォンの共有

マイクロフォン共有機能を活用すると、USB-C または Touch USB で接続されているスロットイン PC またはデバイスで、BenQ Board のマイクロフォンを音声入力源として使用できるようにします。**設定画面** > **詳細設定** > **アクセサリ**でこの設定を有効または無効にします。



重要

次のような場面で問題が発生しないように、マイクロフォンの共有を無効にしてください：

- macOS デバイスで UPDD ジェスチャーを使用するとき
- 外部機器でシステム音声を録音するとき

スタートアップとシャットダウンの設定を行う

1. 設定画面メニューを開きます。
2. 詳細設定 > 電源管理をタップします。
3. 次の設定のいずれかを行います：

メニュー項目	説明
起動時の入力ソース設定	電子黒板の電源を入れたときに自動的に読み込まれる、デフォルトの入力源を設定します。
Wake-on-LAN	この設定を有効にすると、管理者は LAN を介して遠隔操作で電子黒板を起動することができます。
入力ポート接続で起動	この設定を有効にして、電源がオフになっていると、外付け入力源を接続すると自動的に電子黒板が起動します。
起動後にスタンバイ	この設定を有効にすると、電子黒板が起動した後スリープモードに入ります。
電源スイッチ ON で起動	電源がオフになっている状態の電子黒板を電源に接続したとき、デフォルトの動作を選択します。 ・ オフ：電子黒板の電源をオフのままにしておきます。 ・ オン：電子黒板の電源を自動的にオンにします。 ・ 最後：最後に電源オンにした状態を保存し、それを電子黒板に適用します。
電源オフ リマインダー	この設定を有効にすると、電子黒板の電源が切れる前にカウントダウンが始まります。これは電子黒板が電源スケジュール、または電源オフタイマーに従う場合にのみ適用されます。
OPS 起動設定	スロットイン PC を起動する時間を選択します。 ・ 入力ソース切替時に OPS 起動：入力源として選択された場合に起動します。 ・ 本体起動時に OPS 起動：電子黒板の電源が入ると起動します。

電源オフとスリープ設定

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **電源オフとスリープ**をタップします。指定した時間内にタッチスクリーン操作が検出されなければ、電子黒板はスリープモードに入るか、電源が切れます。
3. 電源オフタイマーを設定します。
4. スリープタイマーを設定します。

電源スケジュールの設定

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **電源スケジュール**をタップします。
3. 曜日を選択します。
4. スタートアップとシャットダウンの時間を設定します。
5. 起動するソースを選択します。
6. **OK** をタップします。
スケジュールはリストに追加され、デフォルトにより有効になります。



重要

スケジュールを設定するときには、重複していないことを確認してください。2つ以上の電源スケジュールが重複している場合、電子黒板はそれらすべてを適用します。

ブートロゴとアニメーションの設定

1. **設定画面**メニューを開きます。
2. **詳細設定** > **起動時のロゴとムービー**をタップします。
3. 次のタスクを実行します。

操作	手順
起動時のロゴを無効	ブートロゴを有効または無効に切り替えます。
起動時のムービーの変更	1. ブートアニメーション ファイルが保存された USB ドライブを電子黒板に接続します。 注意 ブートアニメーション ファイルはこのフォーマットでなければなりません。 ・最大解像度：1920 x 1080 ・ファイル名：bootanimation.zip 2. 起動時のムービーの変更をタップします。
起動時のムービーの復元	1. 起動時のムービーの復元をタップします。 確認のメッセージが表示されます。 2. OK をタップします。

システムログのエクスポート

1. USB ドライブを電子黒板に接続します。
2. **設定画面**メニューを開きます。
3. **詳細設定** > **ログ出力**をタップします。
4. ファイル名を入力します。
5. **OK** をタップします。
システムログは、「xbug_log/[file name].zip」という名前で USB ドライブにエクスポートされます。

ファームウェアの更新



警告

- ・ファームウェアを更新するには、システムを再起動する必要があります。更新を行う前に、重要なすべてのデータを保存してください。
- ・ファームウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。処理が中断しないようにしてください。電子黒板に致命的なダメージを与える可能性がありますので、デバイスの電源を切ったり、インターネットから切断したりしないでください。

1. 設定画面メニューを開きます。
2. **詳細設定 > システムアップデート**をタップします。
3. **システムを更新**をタップします。
システムがファームウェアをダウンロードして更新し、自動的に再起動します。

電子黒板設定をエクスポート

1. USB ドライブを電子黒板に接続します。
1. 設定画面メニューを開きます。
2. **詳細設定 > USB クローン > 設定を書き出し**をタップします。
確認のメッセージが表示されます。
3. **OK**をタップします。
設定は、「benq/Settings.json」という名前で USB ドライブにエクスポートされます。

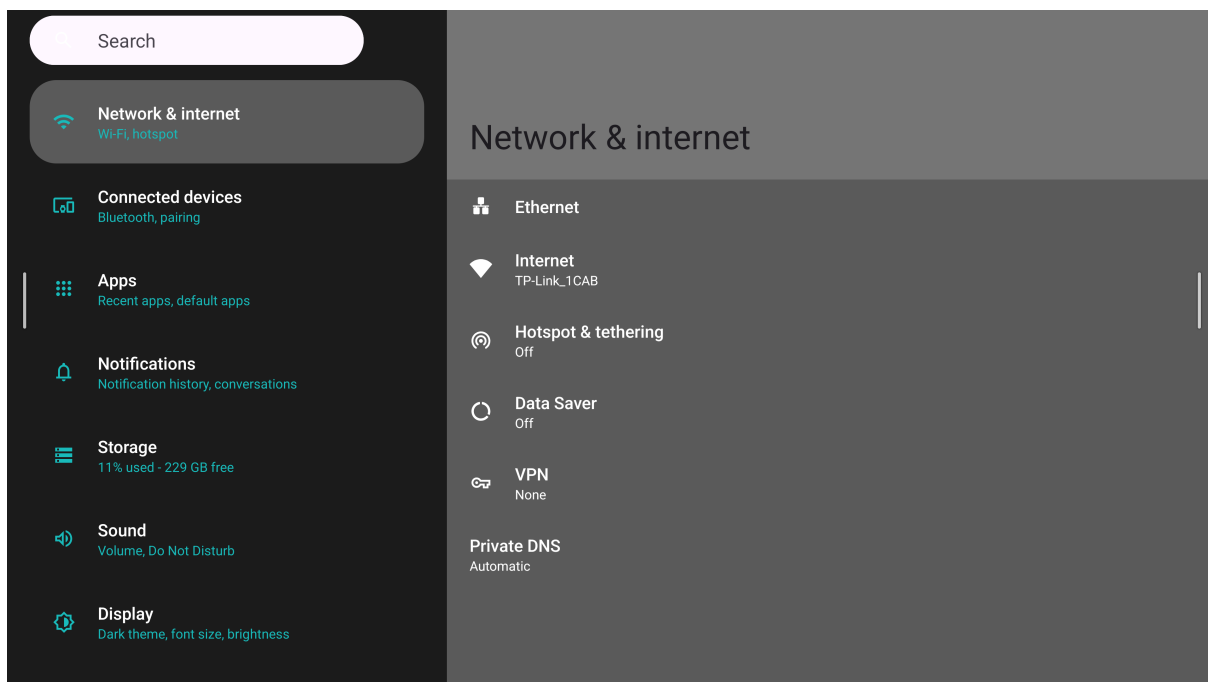
電子黒板設定をインポート

1. 設定ファイルが保存された USB ドライブを電子黒板に接続します。
1. 設定画面メニューを開きます。
2. **詳細設定 > USB クローン > 設定の読み込み**をタップします。
ファイル選択画面が開きます。
3. 設定ファイルを選択し、**OK**をタップします。
設定がインポートされます。
4. 電子黒板を再起動します。

Android 設定

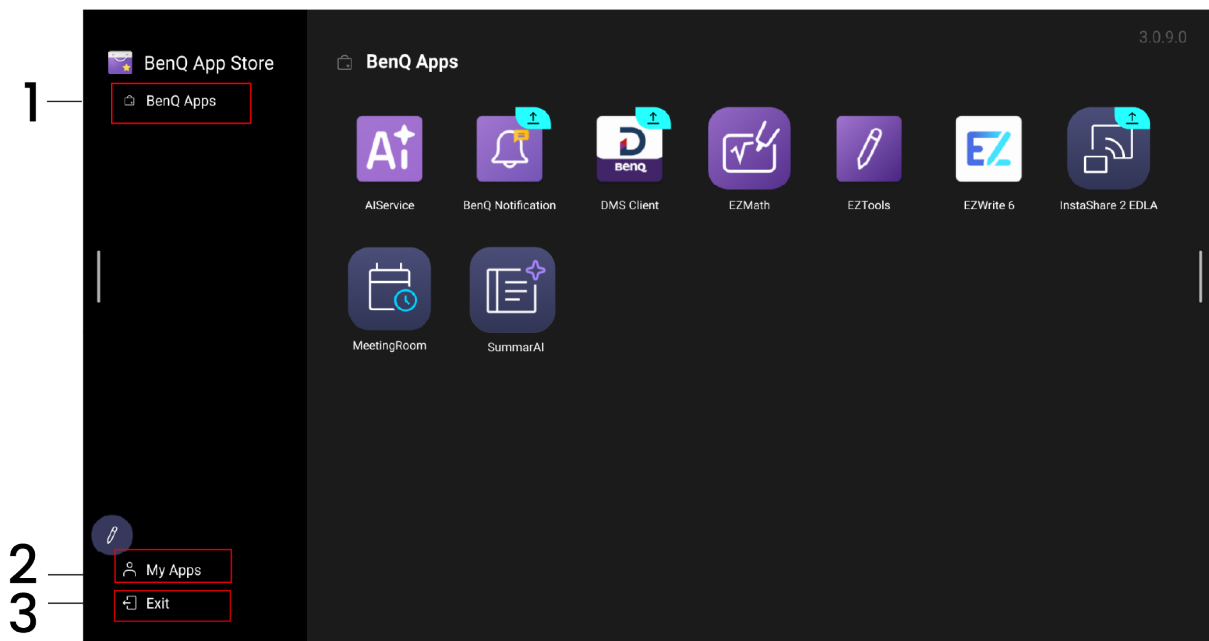
Android 設定メニューは、初期値に戻す、ネットワークとインターネット、Bluetooth 接続、アプリの許可など、すべての様々なデバイス設定がまとめられています。

ホーム画面からこれらの設定にアクセスするには、タスクバーで  をタップし、次に **設定画面**  をタップします。



BenQ App Store

BenQ App Store には、BenQ が開発したすべてのアプリと、サードパーティのパートナーが BenQ Board のために開発したアプリがあります。



1. アプリリスト：教育、法人、BenQ アプリで分類してアプリを見たり、参照したりすることができます。
2. マイアプリ：インストールしたアプリを更新したり、アンインストールしたり、自動更新を有効にしたりして管理します。
3. 終了

BenQ アプリ



AMS Files

AMS にログインして、BenQ Board 上の個人化したワークスペースとリンクしたクラウドストレージのアカウントにアクセスすることができます。



DMS Client

DMS Client は DMS Cloud とリンクしていますので、BenQ Board を 1 つのコンソールから管理することができます。



EZWrite 6

EZWrite 6 は、学習やコラボレーションにおいて BenQ Board を無限のキャンバスに変えてくれる、強力でインタラクティブなホワイトボードです。



EZTools

EZTools ライブラリは、EZWrite の主要なすべての機能をアクティベートします。



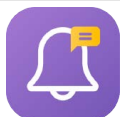
InstaShare 2

BenQ Board 上で InstaShare 2 Host アプリを使用し、無線でコンテンツを共有し、他のデバイスのスクリーンを操作することができます。



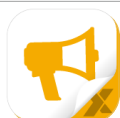
InstaShare Button

ボタンを 1 回クリックするだけで、ワイヤレススクリーンを安定的に共有できるように、InstaShare Button モードを有効にします。



BenQ Notification

BenQ Board およびその他インストールされているアプリケーションに関連するお知らせをリアルタイムで受け取ることができます。



X-Sign Broadcast

BenQ Board から、予約されたお知らせとリアルタイムのアラートを送信します。



MeetingRoom

BenQ スマート電子黒板とシームレスに使える、直観的な操作が可能な部屋の予約ソリューションです。



SummarAI

教室や会議室において、AI による文字起こしや要約を行います。

アプリのインストール

1. ボードがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. ローカルまたは AMS 管理者としてログインします。
3. タスクバー上の  をタップします。
4. **BenQ App Store** をタップします。
5. 左側のメニューで、アプリライブラリをどれでもタップします。
使用可能なアプリがリストされます。
6. ダウンロードするアプリをタップします。
7. **ダウンロード** をタップします。
システムが自動的にアプリをダウンロードし、インストールします。
8. ボードを再起動します。

アプリの更新

1. ボードがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. ローカルまたは AMS 管理者としてログインします。
3. タスクバー上の  をタップします。
4. **BenQ App Store** をタップします。
5. 左側のメニューで、アプリライブラリをどれでもタップします。
6. 使用可能なアプリがリストされます。
7. 更新するアプリをタップします。
8. **更新** をタップします。
9. システムが自動的にアップデートをダウンロードし、インストールします。
10. ボードを再起動します。

すべてのアプリを更新

1. ボードがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. ローカルまたは AMS 管理者としてログインします。
3. タスクバー上の  をタップします。
4. **BenQ App Store** をタップします。
5. 左側のメニューで、**マイアプリ** をタップします。
6. **すべて更新** をタップします。
7. システムが自動的にすべての利用可能なアップデートをダウンロードし、インストールします。
8. ボードを再起動します。

アプリの自動更新

1. ボードがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. ローカルまたは AMS 管理者としてログインします。
3. タスクバー上の  をタップします。
4. **BenQ App Store** をタップします。
5. 左側のメニューで、**マイアプリ**をタップします。
6. 右上隅の**アプリの自動更新**を有効にします。
7. システムが自動的にアップデートをダウンロードし、インストールします。

アプリを古いバージョンに戻す



注意

BenQ が開発したアプリとコア Google アプリのみ古いバージョンに戻すことができます。

1. ローカル管理者としてログインします。
2. タスクバー上の  をタップします。
3. **設定画面**  をタップします。
4. **アプリ**をタップします。
5. リストからアプリをタップします。
6. **⋮** > **アップデートをアンインストール**をタップします。

アプリのアンインストール



注意

サードパーティのアプリのみ BenQ Board からアンインストールできます。

1. ローカルまたは AMS 管理者としてログインします。
2. タスクバー上の  をタップします。
3. BenQ App Store をタップします。
4. 左側のメニューで、**マイアプリ**をタップします。
5. **アンインストール**をタップします。
6. アンインストールするアプリを選択します。
7. **確認する**をタップします。
8. **アンインストール**をタップします。

Eye Care ソリューション

BenQ Board Pro CP05 および BenQ Board Master CM05 は、Eyecomfort 認証を受けています。

ちらつき防止とブルーライト軽減

BenQ Board Pro CP05 および BenQ Board Master CM05 は、TÜV 認証のちらつき防止およびソフトウェアによるブルーライト低減が搭載されています。長時間スクリーンを見続けた結果生じ得る体の不調を防止するよう設計されています。本製品は、ちらつきの主な原因を除去する DC 調光により、安定したバックライトを持続します。ソフトウェアベースのブルーライト低減機能は、スクリーンの色温度をより暖かい色に調整し、使用中に放射されるブルーライトの強度を効果的に低減し、眼精疲労を軽減します。デフォルトの電子黒板設定は、TÜV 規格に準拠しています。

耐菌性ソリューション

BenQ Board Pro CP05 および BenQ Board Master CM05 タッチスクリーン、正面コントロールパネルおよびペンは、細菌の蔓延を防止する抗細菌剤や抗ウイルス剤であるナノイオン銀で処理されています。本製品は TÜV に認証されており、一般的な細菌から 99.9% 保護します。

付録

対応する入力解像度

解像度	入力ソース	
	USB-C	HDMI 2.0
640 x 480 @ 60Hz	V	V
800 x 600 @ 56Hz	V	V
800 x 600 @ 60Hz	V	V
1024 x 768 @ 60Hz	V	V
1280 x 800 @ 60Hz	V	V
1280 x 1024 @ 60Hz	V	V
1360 x 768 @ 60Hz	V	V
1680 x 1050 @ 60Hz	V	V
1920 x 1080 @ 60Hz	V	V
3840 x 2160 @ 24Hz	V	V
3840 x 2160 @ 25Hz	V	V
3840 x 2160 @ 30Hz	V	V
3840 x 2160 @ 50Hz	V	V
3840 x 2160 @ 60Hz	V	V
480p (60Hz)	V	V
576p (50Hz)	V	V
720p (50Hz)	V	V
720p (60Hz)	V	V
1080p (23Hz)	V	V
1080p (24Hz)	V	V
1080p (25Hz)	V	V
1080p (29Hz)	V	V
1080p (30Hz)	V	V
1080p (50Hz)	V	V
1080p (60Hz)	V	V

対応メディア形式

動画

拡張子	Codec 詳細		最大解像度
	動画	オーディオ	
.3gp/.3GP2	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.263		1080p @ 60 fps、60 Mbps
.avi	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.263		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
.flv/.f4v	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.263		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
.mkv	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
	VP8		1080p @ 60 fps、40 Mbps
	VP9		4K @ 90 fps、120 Mbps
	H.265		4K @ 90 fps、160 Mbps
.mov	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.263		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
.mp4	H.265	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	4K @ 90 fps、160 Mbps
	MPEG-4		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.263		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
.mpg/.mpeg	MPEG-4	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps
.webm	VP9	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	4K @ 90 fps、160 Mbps
	VP8		1080p @ 60 fps、60 Mbps
.ts	H.265	MPEG-2 レイヤー 2/3、AAC-LC、PCM	4K @ 90 fps、160 Mbps
	MPEG-4		1080p @ 60 fps、60 Mbps
	H.264		4K @ 90 fps、160 Mbps

オーディオ

ファイル	フォーマット	オーディオ コーデック	対応範囲
.aac	AAC	AAC	サンプリングレート：7.35kHz ~ 48kHz ビットレート：最大 960 kbps
.flac	FLAC	FLAC	サンプリングレート：8kHz ~ 48kHz ビットレート：最大値は PCM に近くなります
.mp3	MPEG Audio レイヤー 3	MPEG-2 レイヤー 2/3	サンプリングレート：8kHz ~ 48kHz ビットレート：最大 320 Kbps
.ogg	Vorbis	Vorbis	サンプリングレート：無制限 ビットレート：VBR
.opus	OPUS	OPUS	サンプリングレート：8kHz ~ 48kHz ビットレート：最大 510 kbps
.wav	WAV	PCM	サンプリングレート：8kHz ~ 96kHz ビットレート：最大 10 Mbps

フォト

ファイル	フォーマット
.bmp	BMP
.gif	GIF
.jpeg/jpg	JPEG
.png	PNG

トラブルシューティング

接続	構成
ボードが画像を表示しない。	・ボードの電源がオンになっていることを確認してください。詳細は、電子黒板の電源を入れるを参照してください。 ・有線入力源から入力したコンテンツを表示する場合、次のことをご確認ください： - 入力機器の電源が入っており、ボードにしっかりと接続されています。 - 入力解像度は正しいです。詳細は、対応する入力解像度を参照してください。
ボードが音声を再生しない。	・ボードがミュートに設定されていないか、音量が適切なレベルに設定されているか確認してください。 ・入力源から音声再生されたら、入力機器の電源がオンになっており、ボードにしっかりと接続されていることを確認してください。
入力画像が正しく表示されない。	・入力解像度が正しいことを確認してください。詳細は、対応する入力解像度を参照してください。 ・HDMI 接続を使用する場合は、次の手順にしたがって画像を最適化してください。 1. 設定画面メニューを開きます。 2. 画面設定 > 詳細設定をタップします。 3. EDID から EDID 1.4 を選択します。 詳細は、画面設定を参照してください。
コントロールパネルのボタンが作動しない。	キーボードのロックが無効になっていることを確認してください。詳細は、 アクセスロックの構成 を参照してください。
電子黒板が突然シャットダウンする。	・停電でないか確認してください。 ・電子黒板に電源オフまたはスリープモードの予約が設定されていないことを確認してください。詳細は、次のトピックを参照してください。 - スタートアップとシャットダウンの設定を行う - 電源オフとスリープ設定 - 電源スケジュールの設定
電子黒板の色が正しく表示されない。	・有線入力源からコンテンツを再生する場合は、機器がボードにしっかりと接続されていることを確認してください。 ・画像モードおよび色温度を調整してください。詳細は、画面設定を参照してください。
タッチスクリーンが反応しない。	次のことを確認してください： ・タッチスクリーンのロックが無効になっています。詳細は、アクセスロックの構成を参照してください。 ・ペンまたは指が適切な角度でスクリーンに触れています。 ・接続したデバイスに適切なタッチドライバがインストールされ、有効になっていることを確認してください。
タッチ位置が正しくない。	次のことを確認してください： ・ペンまたは指が適切な角度でスクリーンに触れています。 ・接続したデバイスに適切なタッチドライバがインストールされ、有効になっていることを確認してください。

接続	構成
ディザリングまたはランダムな線が電子黒板上に表示される。	- 有線入力源からコンテンツを再生する場合は、入力機器がボードにしっかりと接続されていることを確認してください。詳細は、接続を参照してください。 - 電子黒板の近くに入力信号に影響し得る他の電子機器、または電源ツールがないことを確認してください。
電子黒板に表示される画像がモノクロか、色が薄い。	- 電子黒板の輝度とコントラストを調整します。詳細は、画面設定を参照してください。 - 有線入力源からコンテンツを再生する場合は、入力機器がボードにしっかりと接続されていることを確認してください。詳細は、接続を参照してください。
電子黒板に画像は表示されますが、音声は出ません。	- ボードがミュートに設定されていないか、音量が適切なレベルに設定されているか確認してください。 - 有線入力源からコンテンツを再生する場合は、入力機器がボードにしっかりと接続されていることを確認してください。詳細は、接続を参照してください。
サウンドバーから音が均等に聞こえない。	- サウンドバランスを調整します。詳細は、音声設定を参照してください。 - 次のことを確認してください： - 入力機器がボードにしっかりと接続されています。 - 入力機器が1本のサウンドチャンネルを使用しています。
タッチスクリーンの異常や予期しないタッチ操作が発生します。	環境の湿度が低い場合は、スクリーンの表面や人体に静電気が溜まりやすくなります。これによりタッチ操作の異常やカーソルがジャンプしたり、線がランダムに現れたり、予期しないタッチ操作（ゴーストタッチ）が生じる場合があります。静電気を放電するには、次の手順にしたがってください。 ステップ1：少し濡れた布（またはウェットシート）を準備します - 清潔な布（マイクロファイバーで毛羽立ちの少ない布をお勧めします）を準備して、水で濡らします。 - しっかりと絞ります（水滴が落ちなくなるまで）。布またはウェットシートから水滴が完全に落ちないことを確認してください。 注意：水滴がスクリーンの端から内部に染み込むとハードウェアの故障の原因となります。 ステップ2：スクリーンを拭いて静電気を放電させる スクリーンの表面全体を湿らせた布で優しく拭くと静電気を除去できます。デバイスの操作を再開する前に、スクリーンを完全に乾かしてください。 静電気の原因 - 乾燥した気候または冬季の環境 - 不適切な接地（高インピーダンス） - 開封時の摩擦または湿気の差 - ガラスの表面を乾いた布で拭く

著作権と免責事項

著作権

Copyright 2026 BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は本書の内容について、明示または暗示に関わらず、いかなる責任も保証も行いません。BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

製品サポート

本書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としておりますので、事前通知なく時折内容が更新される場合があります。本書の最新版とその他の製品情報は、ウェブサイトをご覧ください。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

EU のお客様へ

解体についての情報も製品のダウンロードページからご覧いただけます。Commission Regulation (EU) 2019/2021 に準拠した補修およびリサイクルの分かりやすい手順については、ドキュメントが用意されています。ホームページ上でこの情報が見つからない場合は、お近くのカスタマーサービス代理店までお問合せください。

保証期間内の製品につきましては、お近くのカスタマーサービス代理店までお問い合わせください。

保証期間が終了した製品については、互換性を保証するために専門の技術者にご相談になり、BenQ から補修用パーツを入手されるようお勧めします。



重要

分解、あるいはそれに類する行為により発生した結果について責任を負えない場合は、絶対に本製品を解体しないでください。製品の解体についての情報が見つからない場合は、お近くのカスタマーサービス代理店までお問合せください。

安全のために

 ご注意 感電の危険があります。  ご注意：感電の危険を避けるため、カバー（または背面）を取り外さないでください。 内部にユーザーが修理できる部品はありません。 有資格のサービス担当者に修理を依頼してください。		この機器は必ずアース接続してください 安全にお使いいただくため、3 ピンプラグは、通常の家庭用配線等で適切に接地された標準の3 ピン電源コンセントにのみ差し込んでください。本機器に使用する延長コードも3 ピンのものを使用し、接地できるよう正しく配線してください。延長コードの配線の誤りは重大な事故の原因となります。機器が正常に作動しても、電源コンセントのアース接続や機器の設置が安全であるとは限りません。安全のため、電源コンセントの接地が確実か疑問がある場合は、有資格の電気技師にご相談ください。
	このマークは、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、人体に感電の危険をもたらすおそれがあることをユーザーに警告するものです。	
	このマークは、使用上およびメンテナンス（サービス）の際の重要な指示が付属文書に含まれていることをユーザーに警告するものです。	

電源コードのメインプラグは、すぐに使用できる状態になっていなければなりません。AC コンセント（本線コンセント）が本機の近くにあり、容易に手が届くようになっていなければなりません。AC 本線からこの機器を完全に外すには、AC コンセントから電源コードを抜いてください。

- この電子黒板は床が平坦でない場所、斜めになっている場所、あるいは不安定な場所（ワゴンの上など）に置かないでください。落下して故障したり、ケガの原因となったりします。
- この電子黒板は、スパやプールなどの水場の近くや、開いた窓から雨が吹き込んでくるような、水が飛んでくる場所に設置しないでください。
- 閉じられたキャビネットなど、適切に通気されていない密閉した場所にこの電子黒板を設置しないでください。内部の熱を逃すために、電子黒板の周囲には適度な空間を空けてください。電子黒板の排気口や通気口を塞がないでください。過熱すると、事故や電気ショックの原因となります。
- この電子黒板は専門の技術者に設置を依頼してください。この電子黒板は適切に設置しなければ、ケガや故障の原因となります。本機が常に最高の状態で機能するように、設置規制についてご確認ください、定期的にお手入れをなさってください。
- この電子黒板を取り付ける際は、付属されているアクセサリか、メーカーが推奨するアクセサリだけをお使いください。不適切なアクセサリを使用すると、電子黒板が落下して重大なケガの原因となります。電子黒板の重さを支えられるか確認するために、設置面と固定ポイントが十分強度があるか確認してください。
- 感電リスクを抑えるために、カバーは外さないでください。本機の内部には、お客様ご自身で修理できるパーツはありません。修理については、資格を持ったサービス担当者にお問い合わせください。
- ケガを防止するために、ご使用前に電子黒板を取り付けるか、デスクトップスタンドを取り付ける必要があります。

安全のためのご注意

1. 本製品を水場の近くで使用しないでください。
2. 通気口を塞がないでください。
3. ラジエータ、電気ストーブ、ストーブ、その他の発熱性の製品（アンプを含む）などの熱源の近くには設置しないでください。
4. プラグの極性やアースを改造しないでください。極性付きプラグは片方が太くなっています。アース付きプラグは2本の端子とアース用の3本目の端子があります。太い端子やアース端子は安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事士に依頼してコンセントを交換してください。

5. 電源コードは、特にプラグや電子黒板に接続した場所に近い部分を人が踏んだり、プラグ、コンセント、機器からコードが出ている部分が挟まったりしないようにしてください。
6. 製造元が指定する付属品 / アクセサリのみご使用ください。
7. 製造が指定した、あるいは本製品と一緒に販売されていたカートスタンド、三脚、ブラケットをご使用ください。カートと電子黒板を移動させるときには、事故やケガをしないように注意してください。
8. 落雷時、または長期間使用しない場合には本製品をコンセントから外してください。
9. 修理は必ず専門のサービス担当者へご依頼ください。ディスプレイが損傷した場合（落下や物がぶつかった、液体や雨・湿気にさらされた、電源コードやプラグの破損、正常に動作しない等）は、必ずサービス担当者にご相談ください。



本製品に関するご注意

- ・ ケガをする危険性がありますので、電子黒板をお一人で持ち上げないでください。
- ・ 電子黒板を持ち上げる場合は必ず 4 人以上で行うか、カートをご利用ください。
- ・ 電子黒板はできるだけ水平に維持してください。
- ・ 開梱する際は、床に十分なスペースを確保して行ってください。

LCD パネルに関するご注意

- ・ 本製品の液晶電子黒板 (LCD) パネルのガラスには薄い保護層があり、ぶついたり力が加わったりすると、跡や傷がついたり、ひび割れたりする場合があります。液晶基板も過度な力や極端な温度で破損する場合があります。取り扱いに注意してください。
- ・ LCD パネルの反応時間と明るさは、周囲の温度によって変わります。
- ・ 直射日光や強い照明が LCD パネルに当たる場所での設置は避けてください。画面や筐体が熱で破損する恐れや、強い光によって画面が見づらくなることがあります。
- ・ LCD パネルは設計仕様に基づいて製造され、個々のピクセルによって画像を表示します。99.9% の画素は正常ですが、ごくわずか (0.01%) に常時点灯または消灯しているものが存在する場合があります。これは LCD 技術上の制約であり、不良ではありません。
- ・ プラズマディスプレイ パネル (PDP) や旧来の CRT (ブラウン管) スクリーンと同様に、LCD 画面もまた、「画面の焼き付き」や「残像」が起こり得ます。これは、固定された線や影として画面に映ります。このようなダメージを防止するには、静止画（オンスクリーンディスプレイメニュー、TV 局のロゴ、固定されたテキストやアイコン）を 30 分以上表示したままにしないでください。時折、アスペクト比を切り替えてください。画面全体へ画像を表示し、可能な限り黒色のバーが残らないようにしてください。16:9 アスペクト比で長時間画像を表示することは避けてください。画面に 2 か所の垂直線として目視可能な焼き付けが発生することがあります。
- ・ 場合によっては、カバーガラスの内側に結露が生じる場合がありますが、これは自然な現象であり電子黒板の性能には問題ありません。この結露は、通常操作を始めてから 2 時間程度で消えます。

電子黒板のお手入れに関するご注意

タッチ操作に不具合が生じた場合は、フレームをきれいに拭いてください。

電子黒板スクリーンのお手入れ

1. スクリーンのお手入れを行う前に、電子黒板の電源が切っており、電源コードが抜いてあることを確認してください。
2. スクリーンに付着したホコリや汚れを乾いた毛羽立ちしないクロスで拭いてください。強くこすらないようご注意ください。



重要

ペーパータオルなど、スクリーンに拭き取り痕や繊維が付着するようなものはご使用にならないでください。

3. 70% のイソプロピルアルコールで湿らせた、清潔で柔らかい、毛羽立ちのないクロスをお使いください。



警告

- ・危険な化学薬品やアンモニアベースのクリーナーは、スクリーンの表面が傷つきますのでご使用にならないでください。
- ・スクリーンに直接アルコールを吹き付けることはお止めください。
- ・クロスを完全に水につけないでください。可能であれば、アルコールをクロスにスプレーして湿らせてください。

4. スクリーンの表面全体を優しく拭いてください。

リモコンの安全に関するご注意

- ・リモコンを熱源や湿度の高い場所に置かないでください。
- ・リモコンを落とさないでください。
- ・リモコンを水の中に落としたり、濡らしたりしないでください。
- ・リモコンをお使いになる場合は、リモコンとリモートセンサーの間に何も無いことを確認してください。
- ・長期間リモコンをお使いにならない場合は、電池を抜いておいてください。

電池の安全に関するご注意

電池は正しいタイプのものを使用しなければ、液体が漏れだしたり、爆発したりすることがあります。次の点にご注意ください。

- ・電池は極性に注意し、電池カバーの内部に示されている方向に正しく挿入してください。
- ・電池はそれぞれタイプによって特性が異なります。異なるタイプの電池を同時に使用しないでください。
- ・古い電池と新しい電池を同時に使用しないでください。古い電池と新しい電池を同時に使用すると、電池の寿命が短くなったり、古い電池から液体が漏れたりする場合があります。
- ・電池に不具合がある場合は、直ちに交換してください。
- ・電池から漏れた液体が肌に付着すると、かぶれの原因となります。電池から液体が浸出した場合は、すぐに乾いた布で拭き、できるだけ早く電池を交換してください。
- ・保管状況が異なるため、製品に同梱されている電池の寿命は短くなっている場合があります。初めてお使いになったときから3か月以内、または正常に作動しなくなったときに交換してください。
- ・電池の廃棄やリサイクルには地域によって規制がある場合があります。お住まいの地域の規則に従うか、廃棄業者にご相談ください。